

令和２年第７回上里町議会定例会会議録第３号

令和２年１２月９日（水曜日）

本日の会議に付した事件

- 日程第 ７（町長提出議案第73号）上里町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第 ８（町長提出議案第74号）上里町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
- 日程第 ９（町長提出議案第75号）上里町後期高齢者医療に関する条例等の一部を改正する条例について
- 日程第 10（町長提出議案第76号）上里町介護保険法に基づく指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例について固定資産評価委員会委員の選任について
- 日程第 11（町長提出議案第77号）上里町の議会の議員及び長の選挙における選挙用運動自動車の使用等の公営に関する条例について
- 日程第 12（町長提出議案第78号）上里町工場立地法地域準則条例について
- 日程第 13（町長提出議案第79号）令和２年度上里町一般会計補正予算（第７号）について
- 日程第 14（町長提出議案第80号）令和２年度上里町国民健康保険特別会計補正予算（第２号）について
- 日程第 15（町長提出議案第81号）令和２年度上里町介護保険特別会計補正予算（第３号）について
- 日程第 16（町長提出議案第82号）令和２年度上里町下水道事業会計補正予算（第２号）について
-

出席議員（１４人）

1 番 黛 浩 之 君	2 番 高 橋 茂 雄 君
3 番 高 橋 勝 利 君	4 番 飯 塚 賢 治 君
5 番 仲 井 静 子 君	6 番 猪 岡 壽 君
7 番 齊 藤 崇 君	8 番 植 原 育 雄 君
9 番 植 井 敏 夫 君	10 番 高 橋 正 行 君

1 1 番 納 谷 克 俊 君
1 3 番 高 橋 仁 君

1 2 番 沓 澤 幸 子 君
1 4 番 新 井 實 君

欠席議員 なし

説明のため出席した者

町 長	山 下 博 一 君	副 町 長	江 原 洋 一 君
教 育 長	埴 岡 正 人 君	総 務 課 長	山 田 隆 君
総合政策課長	豊 田 貴 志 君	税 務 課 長	須 長 正 実 君
くらし安全課長	間々田 亮 君	町民福祉課長	亀 田 真 司 君
子育て共生課長	飯 塚 郁 代 君	健康保険課長	及 川 慶 一 君
高齢者いきいき課長	間々田 由 美 君	まち整備課長	相 馬 伸太郎 君
産業振興課長	山 下 容 二 君	上下水道課長	根 岸 利 夫 君
学校教育課長	望 月 誠 君	学校教育指導室長	福 島 実 君
生涯学習課長	伊 藤 覚 君	会 計 課 長	小 暮 伸 俊 君

事務局職員出席者

事 務 局 長 宮 下 忠 仁 係 長 飯 塚 剛

◎開 議

午後 1 時 3 2 分開議

○議長（猪岡 壽君） ただいまの出席議員は12名であります。定足数に達しておりますので、ただいまから散会前に引き続き、本日の会議を開きます。



◎日程第 7 町長提出議案第 7 3 号 上里町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

○議長（猪岡 壽君） 日程第 7、町長提出議案第73号 上里町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明及び議案の説明を求めます。

副町長。

〔副町長 江原洋一君発言〕

○副町長（江原洋一君） 御提案申し上げました議案第73号 上里町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について提案説明を申し上げます。

初めに、提案理由でございます。

学校薬剤師の報酬について、近隣自治体と比べ低額であり、格差を是正し、学校の保健衛生の指導に当たるにふさわしい人材を安定的に確保するため、上里町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正いたしたく、本案を提出するものでございます。

続きまして、概要及び内容につきまして御説明申し上げます。

学校薬剤師に係る報酬は、非常勤特別職報酬として、上里町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の別表において定められているところですが、近隣自治体と比べ低額であり、格差が生じておる状況でございます。そのため、本庄市児玉郡の薬剤師会と学校薬剤師会より報酬引上げの要望書もいただいております。

学校薬剤師の配置につきましては、学校保健安全法に定められており、主な業務は、学校保健計画及び学校安全計画の立案、環境衛生検査の実施、学校の環境衛生を維持改善するために必要な指導や助言、健康相談や保健指導等、多岐にわたっております。

今後も学校教育に深い理解を持つすぐれた人物を確保して委嘱するため、報酬を本庄市と同額に改正しようとするものでございます。年額で2万8,000円から4万3,000円に改正するもので、1万5,000円の報酬額の増加に係る改正となります。

附則でございますが、施行期日を令和3年4月1日からいたします。

以上で、上里町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の提案説明とさせていただきます。

慎重御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げます。

○議長（猪岡 壽君） これで提案理由の説明及び議案の説明を終わります。

これより質疑に入ります。質疑のある方は順次発言を許可いたします。

質疑はありませんか。

7 番齊藤崇議員。

〔7 番 齊藤 崇君発言〕

○7 番（齊藤 崇君） ちょっと確認、全協で説明した件のちょっと確認したいんですけども、近隣市町の参考の数字が先日提示されているんですけども、このときの上里町の報酬額が2万8,000円と、この格差を生じていた期間というか年数というのは、何年ぐらいだったのか。ちなみに、本庄市の平成28年の額というのは聞いたような気がするんですけども、ほかの神川、美里4万2,000円、この時点で上里町が2万8,000円ということだったんですけども、この差が生じていた期間、年数ですね、どのぐらいだったのか、ちょっと教えてください。

○議長（猪岡 壽君） 学校教育課長。

〔学校教育課長 望月 誠君発言〕

○学校教育課長（望月 誠君） 齊藤議員の御質問に説明をさせていただきます。

近隣市町との格差、どれぐらい前からという御質問かと思えますけれども、美里町につきましては、いつ条例改正したかはちょっと分からないんですけども、本庄市は平成18年1月10日に改正をしております。神川町は平成29年4月1日に改正しておりますので、神川町さんが4万2,000円に上げてから今までの間、格差が生じていたということでございます。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） 7 番齊藤崇議員。

〔7 番 齊藤 崇君発言〕

○7 番（齊藤 崇君） そうすると、薬剤師会というのは、児玉郡薬剤師会というのがあるのかどうか、ちょっと勉強不足で分からないんですけども、医師会なんかありますよね。そうすると、その辺の整合性というか、薬剤師会があるかどうか分からないんですけども、要するにそういった横の情報連絡というのがあって、上里町だけがこれだけだよというふうなことの格差が生じていたんじゃないのかなと思うんですよね。その辺はあれですかね、執行部とか町のほうへそういった情報が来ていたのかどうか。となると、要するに本町の手当てがちょっと遅かったかな。もしそういう情報が入っていたのであれば、何でこの期なのかというのがちょっと疑問に思うんですよね。だから、その辺はよく、私あんまり好きじゃないんですけど

ども、結構いろんなことでこの本庄児玉郡市町横並びを提示するわけですよね。そういう観点から考えると、今答弁いただいた、説明いただいた、神川町が平成29年、3年ぐらい遅れていると。これだけ情報、伝達機能が発達している世の中で、そういったものがここまで遅く情報が来て考え直すというか見直すというか、それはちょっとおかしいかなと思うんですけども、その辺についてもう一度説明していただけますか。

○議長（猪岡 壽君） 学校教育課長。

〔学校教育課長 望月 誠君発言〕

○学校教育課長（望月 誠君） 齊藤議員の御質問に説明をさせていただきます。

近隣市町足並みそろえてということ、よく言われるわけなんですけれども、薬剤師会につきましては、本庄市児玉郡薬剤師会というのと本庄市児玉郡学校薬剤師会という組織がございます。全協でも御説明申し上げましたが、平成30年に両薬剤師会連名で報酬の引上げについての要望書が町長と教育長宛てに提出をされております。このタイミングは、神川町さんが平成29年4月に改正をした翌年ということでございますので、そこら辺を加味した形かなと思っておりますけれども、それを受けまして上里町でも改正について検討はしたところでございますが、平成30年度に要望書が上がってきて検討はしたんですけれども、ほかの非常勤特別職とのバランス等を考慮して、一旦保留となったということでございます。

この時期になってしまったということでございますけれども、薬剤師さんには大変申し訳なく思っているところでございます。報酬を本庄市並みに上げることによって、学校の環境衛生の精通した人材の確保をしたいと思っておりますので、御理解いただければと思います。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（猪岡 壽君） ないようですので、これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（猪岡 壽君） ないようですので、これで討論を終了いたします。

これより議案第73号 上里町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例についての件を起立により採決いたします。

本件は原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（猪岡 壽君） 起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎日程第 8 町長提出議案第 7 4 号 上里町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

○議長（猪岡 壽君） 日程第 8、町長提出議案第 74 号 上里町国民健康保険税条例の一部を改正する条例についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明及び議案の説明を求めます。

副町長。

〔副町長 江原洋一君発言〕

○副町長（江原洋一君） 御提案申し上げました、議案第 74 号 上里町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について提案説明を申し上げます。

まず、提案理由でございますが、地方税法施行令の一部を改正する政令が令和 2 年 9 月 4 日に公布されたことに伴い、所要の改正をしたいので、本案を提出するものでございます。

初めに、概要につきまして御説明申し上げます。

このたびの改正は、平成 30 年度税制改正において個人所得課税の見直しがなされ、令和 3 年 1 月 1 日から給与所得控除及び公的年金等控除が 10 万円引き下げられるとともに、基礎控除額が 10 万円引き上げられたことにより、給与及び年金所得世帯においては、当人の担税力に何ら変化がないにも関わらず、当該見直し後において国民健康保険税の減額措置に該当しにくくなることから、その影響を遮断するために、この減額措置の適用となる軽減判定所得額の算定方式の改正を行うものでございます。

それでは、条文ごとに改正内容を申し上げます。

第 20 条は、国民健康保険税の減額について規定したのですが、当町においては、地方税法施行令の定めにより、その世帯所得に応じて国民健康保険税の均等割及び平等割を、7 割、5 割、2 割軽減する措置を採用しております。この減額の判定において給与及び年金所得世帯にあっては、担税力に変化がない場合でも、当該見直し後においてはこの減額措置に該当しにくくなることから、軽減判定所得額の算定方法の改正を行うものでございます。

次に、附則第 2 項は、公的年金等に係る所得に係る国民健康保険税の課税の特例について規定したのですが、現行で 65 歳以上の公的年金受給者で年金所得控除を受けた場合には、軽減判定所得額の算出の際、さらにその所得から 15 万円を控除しているところですが、第 20 条が改正されたことに伴い、最低限度額として年金収入額 125 万円以上という規定を設けるものでございます。

次に、附則について説明をさせていただきます。

第 1 条は、施行期日について規定したものであり、令和 3 年 1 月 1 日から施行としております。

第2条は、改正後における上里町国民健康保険税条例の適用区分について規定したものであり、この改正内容を令和3年度以降の国民健康保険税から適用するものでございます。

以上で、上里町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の提案説明とさせていただきます。

慎重御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げます。

○議長（猪岡 壽君） これで提案理由の説明及び議案の説明を終わります。

これより質疑に入ります。質疑のある方は順次発言を許可いたします。

質疑はありませんか。

8番植原育雄議員。

〔8番 植原育雄君発言〕

○8番（植原育雄君） 昨日の全員協議会の資料に基づいての質問となりますけれども、今回の上里町国民健康保険税条例の一部改正について、確認のために質問させていただきます。

今回は、地方税法施行令の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、上里町国民健康保険税条例についても所要の改正を行うと。これは、現在の仕組みではもっともなことだと思います。

それで、改正内容なんですけれども、令和3年1月1日から給与所得控除及び公的年金等控除が10万円引き下げられるとともに基礎控除額が10万円引き上げられることにより、給与年金所得世帯においては当人の担税力に何ら変化がないにも関わらずということで、これは所得税法の関係で、65歳未満の方の計算と65歳以上の方の計算の違いがありますので、65歳以上の方については、この軽減措置は当然といいますか、適切な処理だと思いますけれども、65歳未満の方の計算については、今まで70万までが課税所得金額がゼロということであったものが60万円に引き下げられるということは、課税対象額、それから課税対象人数が増えると思います。それについて、今回の改正、どんなふうな目的で、どんな影響が出るのか、そこら辺について質問をさせていただきたいと思います。

○議長（猪岡 壽君） 税務課長。

〔税務課長 須長正実君発言〕

○税務課長（須長正実君） 植原議員の質問に対しまして御説明申し上げます。

今回の改正は、内容は非常に単純なのですけれども、いろんな要素が複層的に絡み合っておりますので分かりにくくなっているかと思います。簡単に説明するのが難しいんですけれども、制度改正によって控除の仕組みが変わって、実質的には収入が増えていないにも関わらず、控除額が引き下げられたため所得が増える計算となります。この増えた所得で国保の軽減判定をしようしますと、これまではその範囲内にあったものが該当しなくなってしまうということでもあります。そこで、所得が10万上がったために、軽減判定所得のほうも10万引き上げる必要

がございます。

ただし、国保の軽減判定は、個人個人ではなくて世帯単位で行うものでございますので、2人以上いる世帯では、その人数分上げてやる必要がございます。1人であれば10万、10万でいいんですけれども、何人かいる世帯では、その人数分上げてやる必要がございます。

そういった関係で、昨日お示しした判定式のその改正案の中で、1人については33万円を43万円に10万円引き上げます。そのほかの方の人数分については、10万円掛ける給与・年金所得者の数マイナス1を掛けるということで、残りの方の10万円を引き上げる計算になってございます。

その次に、65歳以上の年金受給者の方につきましては特例がございまして、収入で120万プラス15万ということで、135万円までの方が所得がゼロというふうに特例でなっております。これが改正後は、135万から10万削られるわけでございますので125万円となるわけでございますけれども、125万円以上の方には所得が発生してしまうことになりますので、先ほどの人数を数える、10万掛ける給与・年金所得者の数マイナス1という式の年金所得者の数に数える必要がございます。それなので、一応、収入125万という最低限度額以上収入がある方については、この人数に入れましょうという改正でございます。

これは、あくまでも軽減判定の話でございますけれども、実際の本税の計算とは別でございます。本税のほうは、所得から基礎控除分、今までは33万円引いておりました。それで計算しますので、125万に下がった方は所得が発生します。ということなので、その33万円を10万円引き上げて、所得マイナス43万円ということで差し引いておりますので、税額のほうも増えないという計算になります。

65歳未満の方につきましては、現行70万ですけれども、これが年金控除60万になりますので、10万円増えるわけですが、先ほどの判定式の中でその数える数に加わりますので、その人の分は10万円増えることになりますので、軽減判定のほうでも救われるという内容でございます。

ちょっと分かりづらいと思うんですが、以上でございます。

○議長（猪岡 壽君） 8番植原育雄議員。

〔8番 植原育雄君発言〕

○8番（植原育雄君） 説明を聞くと分かるような気がするんですが、本当にこの改正内容なんか見ますと、当人の担税力に何ら変化がないという、この言葉はちょっと適切な言葉であるかどうか、そこら辺ちょっと疑問に思っております。今、税務課長の御説明ですと、そういうふうに計算上はなるかもしれませんが、ですけれども、年金所得だけの人と、あとは年金所得以外の人、合算になりますよね。そういった場合にも、そこら辺とこの言葉が通用するか

どうか、そこら辺ちょっと私は疑問に思っているんですけども。国のやることですから、地方の市町村については、それに従うしかないと思いますけれども、そこら辺のところがちょっと見えないところなんですよね、私には。だから、説明でそのようになるとは思いますけれども、計算上はなるとは思いますけれども、実際はどうか。それは、確定申告してみないと分からない、そういうことになるとは思いますが、もう一度お願いいたします。

○議長（猪岡 壽君） 税務課長。

〔税務課長 須長正実君発言〕

○税務課長（須長正実君） 植原議員の質問に対して御説明申し上げます。

これは、あくまでも計算上の話でございます。基礎控除額が引き下げられたことによって所得が増えるから、その後の税額を計算する際、基礎控除を増やすということで差し引きゼロにしているわけです。ですから、まるっきり去年と今年の収入が同じであったと仮定したらということでの計算になります。

ですが、実際はそんなことはないわけで、いっぱい働けば所得が増えたり、仕事があれば所得が減ったりしますので、まるっきり同じということはないんですけれども、あくまで制度を変えたことによって、数字のマジックといいますか、そういった差額が発生してしまうので、それを解消するためにこのような判定式の改正を行うということでございます。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） ほかに質問はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（猪岡 壽君） これで質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（猪岡 壽君） ないようですので、これで討論を終了いたします。

これより議案第74号 上里町国民健康保険税条例の一部を改正する条例についての件を起立により採決いたします。

本件は原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（猪岡 壽君） 起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎日程第9 町長提出議案第75号 上里町後期高齢者医療に関する条例等の一部を改正する条例について

○議長（猪岡 壽君） 日程第9、町長提出議案第75号 上里町後期高齢者医療に関する条例等の一部を改正する条例についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明及び議案の説明を求めます。

副町長。

〔副町長 江原洋一君発言〕

○副町長（江原洋一君） 御提案申し上げました、議案第75号 上里町後期高齢者医療に関する条例等の一部を改正する条例の提案説明を申し上げます。

初めに、提案理由でございます。

地方税法等の一部を改正する法律が令和2年3月31日に公布されたことに伴い、関係条例について所要の改正を行いたいので、本案を提出するものでございます。

続きまして、概要について御説明申し上げます。

今回の改正は、地方税法の一部改正により、市中金利の実勢を踏まえた延滞金の割合の引下げが行われ、延滞金に係る割合の名称が「特例基準割合」から「延滞金特例基準割合」に改められたことに伴い改正を行うものであり、関係する条例3本の改正をお願いするものでございます。

まず、第1条として、上里町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正いたします。

附則第2条は、後期高齢者医療保険料に係る延滞金の割合等の特例について規定するもので、本文中「特例基準割合」とあるものを「延滞金特例基準割合」とし、延滞金算出の前提となる割合を「平均貸付割合」と改め、併せて文言の整理を行うものでございます。

また、附則第2条に第2項を追加し、延滞金の計算において、第1項に規定する加算した割合が年0.1%未満のときは、年0.1%とするいたします。

続きまして、第2条として、上里町介護保険条例の一部を改正いたします。

附則第6条は、介護保険料に係る延滞金の割合等の特例について規定するもので、第1条と同様に、本文中「特例基準割合」とあるものを「延滞金特例基準割合」とし、延滞金算出の前提となる割合を「平均貸付割合」と改め、併せて文言の整理を行うものでございます。

また、第1条と同様に、附則第6条に第2項を追加し、延滞金の計算において、第1項に規定する加算した割合が年0.1%未満のときは、年0.1%とするいたします。

最後に、第3条として、上里町下水道事業受益者の負担金に関する条例の一部を改正いたします。

附則第2項は、下水道事業に係る受益者負担金の延滞金の割合の特例について規定するもので、第1条、第2条と同様に、本文中「特例基準割合」とあるものを「延滞金特例基準割合」とし、延滞金算出の前提となる割合を「平均貸付割合」と改め、併せて文言整理を行うもので

ございます。

また、第1条、第2条と同様に、附則に第3項を追加し、延滞金の計算において、第2項に規定する加算した割合が年0.1%未満のときは、年0.1%とするいたします。

附則につきましては、第1項で施行期日を定め、令和3年1月1日から施行するものとし、第2項では経過措置として、改正後の規定は、施行日である令和3年1月1日以後の期間に対応する延滞金について適用し、それ以前の期間に対応する延滞金については従前の例によると規定するものでございます。

以上で、上里町後期高齢者医療に関する条例等の一部を改正する条例についての提案説明とさせていただきます。

慎重御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げます。

○議長（猪岡 壽君） これで提案理由の説明及び議案の説明を終わります。

これより質疑に入ります。質疑のある方は順次発言を許可いたします。

質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（猪岡 壽君） 質疑がないようですので、これで質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（猪岡 壽君） ないようですので、これで討論を終了いたします。

これより議案第75号 上里町後期高齢者医療に関する条例等の一部を改正する条例についての件を起立により採決いたします。

本件は、原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（猪岡 壽君） 起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◇

◎日程第10 町長提出議案第76号 上里町介護保険法に基づく指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例について

○議長（猪岡 壽君） 日程第10、町長提出議案第76号 上里町介護保険法に基づく指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明及び議案の説明を求めます。

副町長。

〔副町長 江原洋一君発言〕

○副町長（江原洋一君） 御提案申し上げました、議案第76号 上里町介護保険法に基づく指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例について提案説明を申し上げます。

まず、提案理由でございますが、このたび指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定めた厚生省令が改正されたことに伴い、所要の改正を行いたいので、本案を提出するものでございます。

次に、概要について御説明申し上げます。

平成30年に改正をお願いした現行の基準では、居宅介護支援事業所における管理者の要件を介護支援専門員から主任介護支援専門員に変更し、また、同時に、令和3年3月31日まではその適用を猶予するとの経過措置を設けているところでございます。

しかしながら、昨今の人材確保に関する状況等を考慮し、今回、経過措置期間の延長を行うとともに、主任介護支援専門員の確保が著しく困難である等やむを得ない理由がある場合については、特例として介護支援専門員を管理者とする取扱いを可能とするものでございます。

続きまして、改正条文の内容について御説明申し上げます。

第5条では、管理者について規定しており、第2項にただし書きを追加し、主任介護支援専門員の確保が著しく困難である等やむを得ない理由がある場合については、引き続き、介護支援専門員を管理者とすることができることといたします。

附則第2項では、経過措置期間を、これまでの令和3年3月31日から令和9年3月31日に延長し、第3項では、令和3年3月31日における管理者が令和3年4月1日以後も管理者である場合は、管理者要件の猶予を適用する旨を新たに定めております。

最後に、附則でございますが、公布の日から施行するものと規定し、第5条第2項のただし書きについて、令和3年4月1日から施行するものと規定しております。

以上で、上里町介護保険法に基づく指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例の提案説明とさせていただきます。

慎重御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げます。

○議長（猪岡 壽君） これで提案理由の説明及び議案の説明を終わります。

これより質疑に入ります。質疑のある方は順次発言を許可いたします。

質疑はありませんか。

12番 沓澤幸子議員。

〔12番 沓澤幸子君発言〕

○12番（沓澤幸子君） 質問させていただきたいんですが、今現在、上里町にある指定居宅介護事業所におきまして、この主任介護支援専門員の確保が困難な状態で、それに代わる措置を講じている事業所がどのくらいあるのか、お尋ねしたいと思います。

○議長（猪岡 壽君） 高齢者いきいき課長。

〔高齢者いきいき課長 間々田由美君発言〕

○高齢者いきいき課長（間々田由美君） 沓澤幸子議員の御質問に御説明申し上げます。

上里町にございます居宅介護支援事業所につきまして現在12カ所ございますが、そのうち3カ所につきまして、主任介護支援専門員でなく介護支援専門員ということで経過措置の適用により運営を実施している状況でございます。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） ほかに質疑はございませんか。

12番沓澤議員。

〔12番 沓澤幸子君発言〕

○12番（沓澤幸子君） 今介護の現場は非常に大変な、コロナの影響も受けて本当にますます大変な現状だというふうに思うわけなんですけれども、3カ所の事業所においては、どのくらいの間、経過措置が講じられてきているのか。また、主任介護支援専門員が配置される見通しがあるのかどうか。今回は、それが認められてなかったり、経過措置の期日が過ぎてしまうと、そこが事業所として成り立たなくなるような事態になっては困るということは分かるんですけれども、しかし、そういう状況があるから、今度は令和9年3月31日まで延ばしますよといった状態が続いても、根本的な主任介護支援専門員が配置できる見通しがあるのかどうか。根本的な配置ができない理由は何なのか、ちょっとお尋ねしたいと思います。

○議長（猪岡 壽君） 高齢者いきいき課長。

〔高齢者いきいき課長 間々田由美君発言〕

○高齢者いきいき課長（間々田由美君） 沓澤幸子議員の御質問に御説明申し上げます。

主任介護支援専門員につきましては、まず基礎資格として保健師であったりとか看護師であったりとかといった基礎資格をまず取得し、実務経験を3年以上積み、それにより介護支援専門員であるケアマネジャーとしての資格を取得し、その後3年以上のまた実務経験を踏んだ上で、初めて主任介護支援専門員という研修を受けることができるという形になっていますので、主任介護支援専門員の資格を取得するまでには、5年から6年の期間が必要となるというふう聞いております。

現在、設置がされていない、介護支援専門員をもって管理者としている事業所につきまして、その経緯はというところになりますと、ちょっとこちらでは承知していないところではござい

ますが、法律のほうで主任介護支援専門員をもって管理者とするとなっておるところですので、各事業所については、そちらの研修を受ける形で適正な配置をするということで取り組んでいるというふうにこちらは理解しております。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（猪岡 壽君） 質疑がないようですので、これで質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（猪岡 壽君） ないようですので、これで討論を終了いたします。

これより議案第76号 上里町介護保険法に基づく指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例についての件を起立により採決いたします。

本案は、原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（猪岡 壽君） 起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎日程第11 町長提出議案第77号 上里町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用
自動車の使用等の公営に関する条例について

○議長（猪岡 壽君） 日程第11、町長提出議案第77号 上里町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明及び議案の説明を求めます。

副町長。

〔副町長 江原洋一君発言〕

○副町長（江原洋一君） 御提案申し上げました、議案第77号 上里町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例について提案説明を申し上げます。

初めに、提案理由でございます。

公職選挙法の一部を改正する法律が令和2年12月12日から施行されることに伴い、所要の規定を整備するため、本案を提出するものでございます。

続きまして、概要につきまして御説明申し上げます。

様々な地域社会の課題について民主的に合意形成を進めていく地方議会の役割は極めて重要ですが、人口減少・高齢化とも相まって、地方議会の議員の成り手不足が深刻化しております。

しかし、これまで町村においては、選挙運動区域が狭い、選挙運動期間が短いなどの理由から、選挙公営の対象とはなっておりませんでした。

そこで、今回、町村の選挙における立候補の環境を改善し、多様な人材の議会参加を促進するため、これまで都道府県及び市を対象としていた選挙公営を町村に拡大し、町村議会議員選挙においてもビラ頒布を解禁するとともに、選挙公営の対象拡大に伴う措置として供託金制度を導入することを目的として、公職選挙法の一部を改正する法律が令和2年6月12日に公布され、12月12日から施行されることになりました。

これに伴い、当町においても上里町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例を制定するものでございます。

次に、条文の内容について御説明申し上げます。

最初に、第1条ですが、本条例の趣旨を定めたもので、上里町議会議員及び上里町長の選挙における選挙運動用自動車の使用、選挙運動用ビラの作成及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関し必要な事項を定めようとするものでございます。

第2条は、選挙運動用自動車の選挙公営制度につき、候補者1人当たりの選挙運動期間における限度額を定めるものでございます。

第3条は、選挙運動用自動車の選挙公営制度を利用するに当たり、有償契約を締結すること及び選挙管理委員会に対して所定の届出をする必要があることを定めるものでございます。

第4条は、選挙運動用自動車の選挙公営制度を利用するに当たり、契約類型ごとに公費負担額を定めるものでございます。

第5条は、複数の契約がある場合には、候補者の指定するいずれか一方の契約が締結されているものとみなされ、両方の制度を同時に利用することができないこと及び候補者による指定が必要であることを定めるものでございます。

第6条は、選挙運動用ビラの作成について、金額の範囲内で無料とすることができると定めるものでございます。

第7条は、選挙運動用ビラ作成公営制度の適用を受けるためには、業者との間で有償契約を締結して、選挙管理委員会の規定に従い、届出書の提出を義務づけるものでございます。

第8条は、選挙運動用ビラ作成費用について、公費負担の限度額と業者からの請求に基づいて業者に対して支払いを行うことを定めるものでございます。

第9条は、選挙運動用ポスターの作成について、金額の範囲内で無料とすることができると定めるものでございます。

第10条は、選挙運動用ポスター作成公営制度の適用を受けるためには、業者との間で有償契約を締結して、選挙管理委員会の規定に従い、届出書の提出を義務づけるものでございます。

第11条は、選挙運動用ポスター作成費用について、公費負担の限度額と業者からの請求に基づいて業者に対して支払いを行うことを定めるものでございます。

第12条は、委任規定を定めたもので、この条例の施行に関し必要な事項は、選挙管理委員会が別に定めるものとするものでございます。

最後に、附則ですが、第1項で施行期日を定め、公職選挙法の一部を改正する法律の施行日である令和2年12月12日に施行するものといたします。

また、第2項は、施行の日以降に告示される選挙から適用することを定めたものでございます。

以上で、上里町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例についての提案説明とさせていただきます。

慎重御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げます。

○議長（猪岡 壽君） これで提案理由の説明及び議案の説明を終わります。

これより質疑に入ります。質疑のある方は順次発言を許可いたします。

質疑はありませんか。

8番植原育雄議員。

〔8番 植原育雄君発言〕

○8番（植原育雄君） 今の提案説明である程度理解できましたけれども、議案第77号の上里町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例について、ある意味、上里町にとっては新しい制度に移行するようなことになると思いますので、何点か不明な点があります。その確認のために質問をさせていただきたいと思います。

昨日の全協のこの資料の中の公職選挙法の一部を改正する法律概要ということで、第1に町村議会議員選挙及び町村長選挙における選挙公営の拡大ということで、1として選挙運動用自動車の使用、それから選挙運動用ビラの作成、それから選挙運動用ポスターの作成ということで、今まで個人負担であったものが公費負担になるということですが、何が具体的に公費負担の対象になるのか、確認のためにもう一度お願いしたいと思います。

それから、2点目は、町村議会議員選挙におけるビラ頒布の解禁ということで、その中に資料の中にビラの種類、頒布方法、規格等は、現行法の市議会議員選挙と同様とすること、分かる範囲で説明をお願いしたいと思います。

それから、第3、町村議会議員選挙における供託金制度の導入、町村議会議員選挙について供託金制度を導入することとし、その額は15万円とすること。供託物没収点は、現行法の市議会議員選挙と同様とすること。これについても、分かる範囲で説明をお願いしたいと思います。

○議長（猪岡 壽君） 総務課長。

〔総務課長 山田 隆君発言〕

○総務課長（山田 隆君） 植原議員の御質問に説明させていただきます。

まず、1つ目の御質問で、具体的に公費負担に変わる内容についてでございます。こちら3点ということで、選挙自動車の使用、それからビラの作成、ポスターの作成、それぞれが公費での負担と変わっていくことでございます。

まず、選挙用自動車でございますが、条例の中に定めておりますように、一括契約ということで、例えばタクシー業者等と契約を結んだ場合は1日当たり6万4,500円の、実際選挙運動期間が5日間でございますので、それを掛けた金額が限度額となっております。

それから、個別契約ということで自動車の借入れ費用、それから燃料代、運転手の雇用費用、これを別々に契約した場合には、またそれぞれの単価に応じて公費の負担がございます。

同様に、町長選挙においても金額が定められているところでございます。

選挙運動用ビラにつきましては、議員さんにつきましては1,600枚、町長においては5,000枚という上限枚数となっております。単価につきましては、ともに7.51円ですね、町長、議員さん、それぞれ同じ金額でございます。

ポスターの作成につきましては、上限枚数が掲示場の数に応じまして79枚ということになっておりまして、上限単価は、町長、議員それぞれ4,899円ということで限度額が定められているところでございます。

ビラの種類ということで、2つ目の御質問でございました。

ビラにつきましては、市の例に倣ってということで、今まで議員についてはビラの頒布はなかったわけなんですけれども、今回新しくビラの頒布ができるようになります。枚数は1,600枚上限ということで、サイズにつきましてはA4サイズです。両面印刷で構わないわけなんです、1,600枚の中で2種類まで作成することが可能でございます。町長におきましては5,000枚というところで、サイズと枚数の規定に関しましては、同じような内容となっております。

それから、3点目でございます。供託金ということでございます。供託金につきましては、選挙を立候補する場合には供託金を法務局のほうに支払うことになるわけなんですけれども、町長につきましては50万円、議員につきましては15万円ということになります。こちらにつきましては、供託するというので、選挙後に没収点を下回らない場合には戻ってくるものでございます。その没収点についてですけれども、有効投票総数に応じて変わってくるところでございます。仮に有効投票総数を1万4,000票と計算した場合には、100票を下回った場合には没収される、そのような計算となっております。

以上でございます。

○議長（猪岡 壽君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（猪岡 壽君） 質疑がないようですので、これで質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（猪岡 壽君） ないようですので、これで討論を終了いたします。

これより議案第77号 上里町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例についての件を起立により採決いたします。

本案は、原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（猪岡 壽君） 起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎日程第12 町長提出議案第78号 上里町工場立地法地域準則条例について

○議長（猪岡 壽君） 日程第12、町長提出議案第78号 上里町工場立地法地域準則条例についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明及び議案の説明を求めます。

副町長。

〔副町長 江原洋一君発言〕

○副町長（江原洋一君） 御提案申し上げました、議案第78号 上里町工場立地法地域準則条例について提案説明を申し上げます。

初めに、提案理由でございます。

工場立地法では、工場敷地における緑地の面積割合等に関する準則を定めておりますが、平成29年4月に施行された一部改正を踏まえ、工場立地法第4条の2第1項の規定に基づき、同法第4条第1項の規定により公表された準則に代えて適用すべき緑地面積割合等に係る地域準則を定めたいので、本案を提出するものでございます。

続きまして、概要につきまして御説明申し上げます。

平成29年4月に施行された工場立地法の一部改正により、工場敷地における緑地の面積割合に係る地域準則の制定権限等が、都道府県から町村へ権限移譲されました。これを受け、当町においても工場敷地に対する緑地や広場などの環境施設の面積割合等を緩和するため、独自の地域準則を定め、企業誘致の促進と企業の流出防止を図るものでございます。

次に、条文の内容について御説明申し上げます。

最初に、第1条ですが、工場立地法第4条の2第1項の規定に基づき、同法第4条第1項の

規定により公表されている国の準則に代えて適用することを定めるものでございます。

第2条は、当該条例における用語の意義は、工場立地法で使用する用語の例によることを定義したものでございます。

第3条は、工場敷地に係る緑地や環境施設の面積割合と国準則から緩和する区域並びにその緑地の面積割合及び環境施設の面積割合を定めるものでございます。

第4条は、工場敷地が2つ以上の区域にわたる場合の緑地等の面積割合の適用を定めたものでございます。

第5条は、工場の屋上に緑化施設を設置する場合など、緑地面積への算入割合を緩和するものでございます。

第6条は、工場敷地が本町と隣接する地方公共団体の区域双方にわたるときに、町長が当該地方公共団体と協議し、適当な措置を講じることを定めたものでございます。

最後に、附則についてですが、第1項で施行期日を定め、令和3年1月1日に施行するものいたします。

また、第2項では、経過措置として、工場立地法により工場敷地に係る届出が義務化される昭和49年6月28日以前に設置された工場が、その後、物品の製造工程に係る施設などの生産施設を増設する際に緑地及び環境施設の敷地面積に対する割合を算定する式を定めたものでございます。

以上で、上里町工場立地法地域準則条例についての提案説明とさせていただきます。

慎重御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げます。

○議長（猪岡 壽君） これで提案理由の説明及び議案の説明を終わります。

これより質疑に入ります。質疑のある方は順次発言を許可いたします。

質疑はありませんか。

7番齊藤崇議員。

〔7番 齊藤 崇君発言〕

○7番（齊藤 崇君） 緑地面積の定義が、ちょっと勉強不足でよく分からないんですけども、まず、新規の場合、例えば100分の10以上ということで行くと約1割ですね、これね。そうすると、新規で例えば緑地で樹木を植栽したときに当然まだ若木を植えるわけですから、例えば定義的に1割といっても、要するにそんなに大きくない若木を植えていった場合に、それを要するにどこの範囲までが緑地というふうにみなされるのか。それと、また、樹木が成長するに当たって、今度は木が繁茂すると、例えばこの幅で植えた面積が、例えばその範囲だとすると、繁茂すると範囲超えちゃいますよね、手入れしないと。そうすると、緑地がもっと増えちゃうと、そういう単純な考え方というか、そういうのでいいのかどうか。それとも、前段

で言った、要するに若木の場合は、要するに緑地面積といっても、木がこの中に1本ぽつんと植わっていても、面積的にはこれは緑地だよという定義ができるのかどうか。その辺の具体的な考え方というのがちょっとよく分からないんですよ。その辺ちょっと説明していただけますか。

○議長（猪岡 壽君） 産業振興課長。

〔産業振興課長 山下容二君発言〕

○産業振興課長（山下容二君） 齊藤崇議員の御質問に説明させていただきます。

緑地の定義でございます。工場立地法に定められております。お話の内容等に関しまして、樹木が生育する区画で捉えます。その区画で造りますよということで、区画を整理された場合には、その区画に応じてその面積割合を出すということでございます。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） 7番齊藤崇議員。

〔7番 齊藤 崇君発言〕

○7番（齊藤 崇君） そうすると、当初そういった、ここにこの幅で1割という範囲内で植栽しても、当面はそれが要するに定義として、これが緑地面積の100分の10なんだよというふうに申請して、それが認められるのかどうか。それが、年数がたつに従って、だんだん植栽したものが大きく成長していくと、ああなるほどなと我々素人なんかに見えるわけじゃないですか。ところが、新規でそういった工場を立地したときに、そういった緑地面積、これがこうだよというふうに申請しても、それが通るかどうか。それが、設置した企業のほうで、それを申請すれば、そのとおりになるのかどうか。その辺の基準というのがよく分からないんですよ。だから、申請したとおりに、これがそうですよと言え、それで済んじゃうのか。それとも、ちゃんと調査するのかどうか。その辺ちょっともう一度説明お願いします。

○議長（猪岡 壽君） 産業振興課長。

〔産業振興課長 山下容二君発言〕

○産業振興課長（山下容二君） 申請については、計画段階で申請をしていただく形になりますので、それについては書類上でその区画があるかどうかというチェックをさせていただくこととなります。

また、当然、美観向上の関係で維持管理をしていただくこととなりますので、そこについては特に義務づけられてはおりませんけれども、そこについても当然設置者としては管理していく義務があるというふうに考えております。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） 7番齊藤崇議員。

〔7番 齊藤 崇君発言〕

○7番（齊藤 崇君） はい、分かりました。そうすると、これが今言ったように、流れでもって、若木を育てて成長していく過程において、いろいろな維持管理、害虫消毒とか、そういったことが発生したり、またはそういった害虫等によって壊されたりするという場合がありますよね。そういうときの、これは管轄はどこになるのかちょっとよく分からないんですけども、維持管理、消毒したりとか、それから枯れちゃって、また何本か植え替えなければならないというふうなことも発生すると思うんですよ。そういうときの一定期間、その緑地面積が少なくなっちゃうわけですよね、枯れちゃったりなんかすると。そういったときの届出とか、そういった義務的なことの事務处理的なことは発生してくるのか。それとも、もうこうやって初めからここは1割、100分の10が緑地面積なんだよと言えば、それでもうずっと半永久的に通っちゃうのかどうか。その辺についてちょっと教えてください。

○議長（猪岡 壽君） 産業振興課長。

〔産業振興課長 山下容二君発言〕

○産業振興課長（山下容二君） 齊藤崇議員の質問に御説明します。

変更についての届出義務という部分についても、特にその辺についての記載はございません。実際に緑地面積を減らしてしまうとか、拡張するとか、そういう部分であれば、そこに届出の必要はございますが、それについての特に定めというものはございません。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） 2番高橋茂雄議員。

〔2番 高橋茂雄君発言〕

○2番（高橋茂雄君） 2番高橋です。

昨日の説明で、近隣市町村と足並みがそろわないと企業が出ていっちゃうような話をされました。それで、別に緑地を減らさなくたって、助成金とか控除でも対応ができると思うんですよね。その中で菅総理もこの間、所信表明の中で地球温暖化に対応していくというような話をされまして、次のバイデン大統領も京都議定書を参考に、もっと緑地を増やして二酸化炭素を増やさないようにしようという政府の方針の中で、その中で日本の企業だって5分の1が工場で5分の4が森林とかというような工場があったりしていて、寄居のホンダの工場なんかだって、あんなに緑が多いわけですよね。

それで、上里にちょっと目を移してちょっと例を出すと、キャノン・コンポーネンツなんかのところに行ってみて毎朝ジョギングとか散歩していると、四季折々の花が咲いていて、とてもきれいなんだけれども、それがもし10%になって、あの芝生が工場の建物に、それは企業から生産性向上にはいいかもしれませんが、楽しみも何もなくなりますよね。それで、

参考にしながら、そういうふうには町としてそういう緑をどんどん少なくしてしまうのは、何でこの時期にこの法案を出したのか、説明をお願いします。

○議長（猪岡 壽君） 産業振興課長。

〔産業振興課長 山下容二君発言〕

○産業振興課長（山下容二君） 高橋議員の御質問に御説明させていただきます。

今回の規制の緩和については、確かに環境問題については議論をさせていただいたところではあります。当然、SDGsだったりとかそういった部分で、企業側もそういった責任のほうを持って志を持ってやっていただくというような時代になってきたというふうに考えております。

そういった一方で、やはり企業でございますので営利活動も行っております。緑化率の規制緩和は、進出企業にとっては、進出初期の段階から土地利用の計画等で緑地率を緩和することによって企業活動に十分な土地の確保ができる。それと、今ある既存の企業にとっては、その下げられた率を使って事業の拡大等を新たに用地を購入しないことができるという利点がございます。

町としては地球温暖化対策については各種政策、計画の中で取り組んでいるところではございます。そういった中で、上里町については、工場の用途についても、上里町全体の4%、農地については60%ほどございまして、そういった意味でも、やはり企業の誘致、それと流出、これを抑えるというのが喫緊の課題というふうに考えております。持続可能な上里町という意味では、やはり税收等の確保についても十分やっていかなければならないところというふうに考えております。

温暖化対策等々については、環境基本計画等各種計画の中でまたしっかりと推進していくような形となってまいりますので、御理解をお願いしたいと思います。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） 町長。

〔町長 山下博一君発言〕

○町長（山下博一君） 高橋茂雄議員の企業の移転に絡んで実際あった話、三田地区にある航空宇宙産業の会社が群馬県の伊勢崎に本社工場を移転しました。私は経営者から直接聞いたんですが、伊勢崎のほうから、また群馬県の企業局から、産業団地へ来い来いと。この表にありますように、群馬県のほうは今の上里、今回改正する緑地率、環境ですね、そういった中で上里も企業が出ていっちゃう可能性があるわけ、実際あったわけですね、現実には。そういったことから見て、やはり群馬県のほうから、県のほうから、群馬県の企業局からも声がかかっていたという話がありまして、実際移したわけですね、本社を。まだ、実際の事務のほうは移って

いませんけれども、建物はもうできています。

そういった状況を見ると、群馬県とこれだけ川を挟んだ町であれば、同じ土俵でやらないとなかなか企業がまた出ていく可能性があるということですね。

私も環境については非常に興味といいますか、SDGsを含めて、これからしっかり取り組んでいかなくちゃならないなということでもあります。町の中でも緑地的なところはしっかり守っていく、そういう方針でいますので、是非御理解いただきたいと思います。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） ほかに質問はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（猪岡 壽君） 質疑がないようですので、これで質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（猪岡 壽君） ないようですので、これで討論を終了いたします。

これより議案第78号 上里町工場立地法地域準則条例についての件を起立により採決いたします。

本案は、原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（猪岡 壽君） 起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

暫時休憩いたします。

再開は15時00分からいたします。

午後2時42分休憩

午後3時0分再開

○議長（猪岡 壽君） 休憩前に引き続き会議を続行いたします。

◎日程第13 町長提出議案第79号 令和2年度上里町一般会計補正予算（第7号）について

○議長（猪岡 壽君） 日程第13、町長提出議案第79号 令和2年度上里町一般会計補正予算（第7号）についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明及び議案の説明を求めます。

副町長。

〔副町長 江原洋一君発言〕

○副町長（江原洋一君） 御提案申し上げました、議案第79号 令和2年度上里町一般会計補正予算（第7号）について御説明申し上げます。

令和2年度上里町一般会計補正予算（第7号）は、次に定めるところによります。

第1条ですが、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8,063万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ132億4,128万9,000円とし、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表歳入歳出予算補正によると規定するものでございます。

第2条は、継続費の追加について、第2表継続費補正によると規定するものでございます。

第3条は、地方債の変更について、第3表地方債補正によると規定するものでございます。

2ページを御覧ください。第1表歳入歳出予算補正でございます。

初めに、歳入ですが、款15国庫支出金は3,129万6,000円の増額補正となり、主な内容は、障害者自立支援給付費負担金、障害児施設措置費補助金、社会保障・税番号制度システム整備費補助金などの増額となっております。

款16県支出金は1,023万2,000円の増額補正となり、障害者自立支援給付費負担金、障害児施設措置費補助金、環境保全型農業直接支援対策補助金の増額となっております。

款19繰入金は1,730万4,000円の増額補正となり、公共施設等用地取得及び施設整備基金繰入金、財政調整基金繰入金の増額となっております。

款20繰越金は3,561万8,000円の増額補正となり、前年度繰越金の増額となっております。

款21諸収入は1,538万4,000円の増額補正となり、主な内容は、後期高齢者医療給付に要する経費負担金精算金、高野谷戸遺跡発掘調査費用、埼玉県収入証紙売りさばき料などの増額となっております。

款22町債は2,920万円の減額補正となり、災害対策事業債の減額となっております。

歳入合計は、現計予算に対しまして8,063万4,000円を追加し、132億4,128万9,000円とするものでございます。

3ページを御覧ください。続いて、歳出について御説明申し上げます。

款2総務費は1,384万7,000円の増額補正となり、主な内容は、道路安全対策工事費、庁舎庁用自動車購入費、埼玉県収入証紙購入費などの増額となっております。

民生費は5,138万円の増額補正となり、主な内容は、障害者負担福祉事業に係る各種給付金、法人立保育所等運営助成事業に係る返還金、介護保険特別会計繰出金などの増額となっております。

款4衛生費は143万7,000円の増額補正となり、主な内容は、清掃総務事業に係る印刷製本費、

未熟児養育医療費給付事業に係る返還金、母子保健事業費償還払い補助金などの増額となっております。

款 5 農林水産業費は35万9,000円の増額補正となり、環境保全型直接支援対策補助金の増額となっております。

款 6 商工費は5万円の増額補正となり、新規創業支援助成金の増額となっております。

款 7 土木費は3,329万7,000円の増額補正となり、主な内容は、児玉工業団地アクセス道路築造工事費、上里サービスエリア周辺地区多目的広場整備工事費、測量調査等業務委託料などの増額となっております。

款 8 消防費は2,926万円の減額補正となり、防災行政無線個別受信機購入費の減額となっております。

款 9 教育費は952万4,000円の増額補正となり、主な内容は、新型コロナウイルス感染症対策応援事業に係る消耗品費、遺跡保存事業に係る各種費用、公民館管理事業に係る修繕料などの増額となっております。

歳出合計につきましても、歳入同様、現計予算に対しまして8,063万4,000円を追加し、132億4,128万9,000円とするものでございます。

続いて、4 ページを御覧ください。

第 2 表継続費補正につきまして、土木費の公園管理事業に係る上里サービスエリア周辺地区多目的広場整備工事の総額3,663万円及び年割額として令和 2 年度1,460万円、令和 3 年度2,203万円の追加を行うものでございます。

5 ページを御覧ください。

第 3 表地方債補正につきましては、起債対象となる事業費の見直しに伴いまして、災害対策事業の起債限度額 1 億5,770万円を 1 億2,850万円に変更を行うものでございます。

以上、一般会計補正予算の提案説明とさせていただきます。

慎重御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げます。

続きまして、総合政策課長がお手元の一般会計補正予算資料で御説明申し上げます。

○議長（猪岡 壽君） 次に、担当課長より詳細を求めます。

総合政策課長。

〔以下、上程中の議案について 総合政策課長 豊田貴志君補足説明〕

○議長（猪岡 壽君） これで提案理由の説明及び議案の説明を終わります。

これより質疑に入ります。質疑のある方は順次発言を許可いたします。

質疑はありませんか。

7 番齊藤崇議員。

〔7 番 齊藤 崇君発言〕

○7 番（齊藤 崇君）　じゃ、何点か質問させていただきます。

まず、1 ページ目の総務課庶務係、行政区運営事業のところの掲示板設置替工事費、これは新しいものに替えると思うんですけども、年度予算だと、今までの私の知っている範囲だと年間多分2 基か3 基だと、私が区長やっているときは2 基だったんですけども、それ以上は駄目ですかといったら駄目だということで離れた経緯があります。今回は、これは何基分、42 万9,000円というのは何基分なんですかということを、まず教えてください。

それから、下のほうのくらし安全課防災安全係、これは9 月か何かで一般質問で私がやった、防災行政無線戸別受信機についてしたと思うんですけども、当時の答弁で、戸別受信機がロット生産のために、普通ロットというとなら1 ロット大体100 台だと思うんですよね、私の知っている限りだと。そうすると、業者のほうにもし町で、この町民が要するに戸別受信機を欲しいよといった場合に1 人か2 人いても、要するに1 ロット、恐らくこれが2,926 万、随分高い買い物になるんですけども、たまたまこれ8 月いっぱい申込みを締め切ったわけですね。ところが希望者がなかったということで、これがマイナス補正になっているんだと思うんですよ。

となると、今後、今デジタル化に替えているわけですよね、町の防災行政無線が。それが完了した時点で、要するに、なおかつ来年度というか今後、またそういった希望者が出た場合、これはちょっと忘れちゃったけれども、この2,926 万というのは当初予算で組んだのか、それとも補正で組んだのか、ちょっと記憶がないんですけども、いずれにしてもこれだけの要するに金額になるんですよね。1 台当たり、ちょっと私もこの前ちょっと試算というか、いろんなデータ見ると、かなり高額な戸別受信機というふうになるわけです。

繰り返しになりますけれども、今後またこういうものの需要があった場合に、町はどういうふうな対応をしてくれるのか。となると、かなり1 台、2 台というか台数が少ないとかなり高い、町でストックしておけばいいんですけども、ストックしておいても需要がないと宝の持ち腐れ、何にもならないわけですよ。そういうふうなことを今後どういうふうに町は推進していくのかということが聞きたいと思います。

それから、最後に、4 ページの公民館係のところでは修繕料ということで説明がありましたけれども、神保原、長幡、七本木、神保原は消防設備、長幡は外壁、七本木は正面玄関とあるんですけども、これ皆さん御存じのとおり、各地区公民館もかなり老朽化きているわけですよ。建て替えなんていうことになる大変なのは分かっているんですけども、結局今は何というんですか、ちょっと私、地元というとならまた変なあれになりますけれども、長幡公民館あたりもかなり雨漏りが激しいんですね。これ、今回は南側の外壁の修繕ということで先ほど説明があ

りましたけれども、七本木は正面玄関。そういった少しずつ少しずつ、だましだまし直しながら使っていくということしか今ないのかもしれないけれども、一番やっぱり困るのは、やっぱり老朽化に伴う雨漏りとか何とかということが、長幡公民館にしてみれば、雨季が過ぎてから、今のところはいいんでしょうけれども、今後そういうことが、また今年は台風も上陸はなかったと、日本列島になかったということで、また来年ないとも限らない、あるかもしれない、そういうことに備えて、公民館長等が指摘したものについては、優先順位を決めて、そういった対応の仕方、これはどういう、外壁はどういう基準で外壁と南側になったのか分かりませんが、そういうことをやっぱり計画性を持って、優先順位を決めてやってもらいたいというふうに思います。

その辺について何点か説明をお願いいたします。

○議長（猪岡 壽君） 総務課長。

〔総務課長 山田 隆君発言〕

○総務課長（山田 隆君） 齊藤議員の御質問1点目の行政区の掲示板について御説明申し上げます。

今回掲示板が3基分の増設ということで、当初でも3カ所計上していたところでございます。今回につきましては、特にコロナウイルス感染症予防のために、現在回覧板を回さないような形になっております。それに代わりまして掲示板を有効活用したいという地域の御要望を受けまして、早期に充実を図りたいということで増設を図るものでございます。

以上でございます。

○議長（猪岡 壽君） くらし安全課長。

〔くらし安全課長 間々田 亮君発言〕

○くらし安全課長（間々田 亮君） 齊藤議員の御質問に御説明いたします。

個別受信機の件でございますが、齊藤議員おっしゃったとおり、希望者がいなかったということでございました。今回減額をさせていただくというところでございます。

町民への情報発信の方法としましては、まずは防災行政無線ですね、これに防災メールを登録いただくのを推奨しております。さらに、デジタル化の工事によりまして、電話応答装置も12月から運用を開始しました。こちらは一応フリーダイヤルで利用いただけるというもので運用を開始したところでございます。

これらに加えて、今回の一般質問の中にもありましたが、LINEの導入等も考えておりますので、LINE導入した際には活用していきたいというふうに思っています。

さらに、コミュニティFMも立ち上がるというようなお話もありますので、そちらも利用して、なるべく多重化を図るということで進めてまいりたいと思います。

以上でございます。

○議長（猪岡 壽君） 生涯学習課長。

〔生涯学習課長 伊藤 覚君発言〕

○生涯学習課長（伊藤 覚君） 齊藤議員の御質問に御説明を申し上げます。

長幡公民館の件でございますけれども、こちらの修繕におきましては、2階の軒の部分が劣化によりまして年々剥がれてきております。一部落下も確認されたため、シリコンの樹脂塗料等による修繕を行うものでございます。

なお、長幡公民館におきましては、上里町公共施設再配置維持保全計画におきまして児童館への機能移転を予定しておりますが、同時に町計画では、現在の施設運営、サービスを維持するための修繕及び工事は実施するべきとの明記がございます。3階の雨漏りにおきましては、大規模改修ではなく最低限の機能維持として部分改修でも可能かどうか、優先順位を定めまして修繕方法を調査しているところでございます。

以上でございます。

○議長（猪岡 壽君） 7番齊藤崇議員。

〔7番 齊藤 崇君発言〕

○7番（齊藤 崇君） ちょっとしつこいようですけれども、防災行政無線のところでもう一度質問させていただきます。

先日、町長から議長宛てに、先ほど課長が説明したように、電話応答サービスの紹介ということで先ほど説明ありました、12月1日から運用開始ということで、こういった書類が来ますよね。この方法というのは、先ほど説明があったんですけれども、今までの防災無線に続いて、防災アプリとかLINEも今後導入していくと。さらに、今回、このフリーダイヤルの応答サービス使えますよというふうな案内が来ているわけですよ。いろんな選択肢があって、町民はできる、使えるものを使えばいいんでしょうけれども、この間、課長にもちょっと提案したんですけれども、NTTでサービス提供しているテレドームという方式、商品名があるんですね。

これはどういうのかというと、フリーダイヤルに似たようなものなんですけれども、有料になると、1通話10円で、町が流す内容についてはその10円ぐらいで聞けるんですよ。じゃ、フリーダイヤルでこれ何本束ねてあるの、要するに何人が同時にかけても使えるのという、そういう使い勝手があるんですよ。4本の回線を契約しているから、4人が同時に来ても同じ内容が聞けるわけですよ。そういう利点がある。

だけど、災害時に4本で足りるか。去年のことを思い出すと、こればかりじゃない、先ほど幾つか選択肢があると私言いましたけれども、それをみんな駆使してくれればいいですよ。

ここは駄目だから、じゃ向こう使ってみようとか。それはそれでいいのかもしれないけれども、できればこのフリーダイヤルで組むのであれば、もう少し、あと2割ぐらい増やしてもいいのかなと。さっき私が言ったテレドーム、これ有料なんですけれども、これは話中ありません、絶対につながります。そういうふうな方法もいろいろあるんですよ。

だから、それも選択肢として考えたらどうというふうに担当課長に話を個別にしたんですけれども、今後どういうふうにそれはしてくれるか分かりませんが、今後そういった災害が頻繁に起こる日本列島、世界もそうですけれども、そういう中で、この間も言ったように、できることはやれるときにやっておこうと。すごく1,000万も2,000万もお金がかかるんだったら、これは考えなくちゃならないですけれども、そういうことを優先してやっていくことが行政の使命かなというふうに思うんですけれども、これについて説明をお願いします。

○議長（猪岡 壽君）　くらし安全課長。

〔くらし安全課長 間々田 亮君発言〕

○くらし安全課長（間々田 亮君）　齊藤議員の御質問に御説明いたします。

先日お話しいただきましたテレドームにつきましては、今調べている途中でございます。ただ、ランニングコストが若干かかるようでして、まだ詳細までは調べ切っていないんですが、その辺も確認をしていきたいと思います。

2点目の回線数でございます。今現在4回線ということで設置をして運用開始したところでございます。一応、設置業者等によりますと、一般的には4回線あればほぼ大丈夫じゃないかというお話なんですけど、この辺はもっと増やすような方向も考えて検討してまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○議長（猪岡 壽君）　町長。

〔町長 山下博一君発言〕

○町長（山下博一君）　齊藤議員の防災行政無線に関する御質問に対して、先ほど課長からコミュニティラジオ、コミュニティFM、そんな話が出ましたけれども、具体的に来年春をめどにほんじょうFMというFM局が発信するというので、先日町のほうへ説明に来ました。神川町も本庄市もまだ具体的に私は確認していませんが、関心を持って進めているということで、普通FMラジオは普通の家庭にも浸透していると思いますので、民放局もAMラジオからFMの音質のいいFM局に切り替えているということでございますので、このほんじょうFMが活用できるようであれば、非常にいい防災時の活用ということで検討していきたいと思っております。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） ほかに質疑はございませんか。

4 番飯塚賢治議員。

〔4 番 飯塚賢治君発言〕

○4 番（飯塚賢治君） 4 番飯塚です。2 つの事項をちょっと確認させてください。

まず、1 ページ目の総務課財産管理事業の庁舎庁用自動車の購入費です。これは268万9,000 円ということなんですが、この車は電気自動車になるのか、ハイブリッドになるのか、環境に配慮した車なのか、ちょっと確認させてください。

それと、3 ページですね、3 ページの産業振興課の商工業の振興事業5 万円、新規創業支援助成金でありますけれども、家賃補助ということですが、これは1 件しかなかったんでしょうか、確認させてください。

以上。

○議長（猪岡 壽君） 総務課長。

〔総務課長 山田 隆君発言〕

○総務課長（山田 隆君） 飯塚議員の総務課に対する質問に対しまして説明させていただきます。

庁用自動車の買換えということで268万9,000円でございますが、こちらは9 月に現在乗っておりましたハイブリッド車のほうが故障いたしまして廃車となったために、出張等の長距離用として乗用車の買換えを行うものでございます。こちらにつきましては、E Vですと1 回当たりの充電の走行距離等に出張によっては不足する心配がございますので、今回の買替えにつきましては、そういった環境配慮と併せて使い勝手を考慮いたしまして、ハイブリッド車を買換える予定としてございます。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） 産業振興課長。

〔産業振興課長 山下容二君発言〕

○産業振興課長（山下容二君） 飯塚議員の御質問に御説明させていただきます。

新規創業支援の補助でございますが、こちらは2 種類ございまして、改修工事の関係の補助と家賃の補助がございます。2 人申込みございました、対象者のほうですね。それぞれ改修費ということで30万ほど出しております。

今回、1 件、パン製造業者なんですが、家賃補助ということで1 月から3 月までの3 か月分、こちらについて申請がございました。1 年間出ますので、残りの分については新年度予算のほうで手当てができればというふうに考えております。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） ほかに質問ありませんか。

3 番高橋勝利議員。

〔3 番 高橋勝利君発言〕

○3 番（高橋勝利君） 何件かちょっと聞きたいんですけども、まずは、1 ページの公共ネットワークの促進事業についてなんですけれども、今まで総合政策課はこのルート変更とかいろいろ努力してやってきたんですけども、今回これ見ますと、ルート変更、それからバス停の撤去と言われているんですけども、まず、バス停撤去は何カ所なのか。そして、こういうことに伴って乗車率がどのぐらいアップするのか。撤去のときにもちょっと聞いたんですけども、今のところ北部のほう、あんまり成果が出てないということなんですけれども、このルート変更とバス停の撤去なんかで、どのぐらいアップが見込まれるのか、ちょっと教えていただきたいというふうに思います。

それから、3 ページですか、土木管理の関係でまち整備課、児玉工業団地についてここに予算が計上されているんですけども、今までの状況だと、令和2年度にここの関係の買収とかは契約を終了したいというふうに町長なんかも言ってたんですけども、今のこれで、もう12 月ですよ、どのぐらいまで進んできちゃって、あと何%なのかということで教えていただきたいというふうに思います。

それから、学校教育課のほうで、アルコール消毒とかいろいろについて言われています。この加湿器のやつというのは、この中に入っているんじゃないんでしょうね。また別なんでしょうけども、今いろんなことが言われています。この加湿器で事故が起きちゃったということで、局長にもちょっと聞きましたけれども、水道の水ならいいけれども、普通のお水、あれ入れちゃうと菌が殺せないというようなことを聞いているので、その辺のところは教育委員会のほうとしてどの辺まで、多分そういうことはしないと思うんですけども、お聞きしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） 総合政策課長。

〔総合政策課長 豊田貴志君発言〕

○総合政策課長（豊田貴志君） 高橋勝利議員の公共交通の関係の御質問について説明をさせていただきます。

まず、バス停の撤去数につきましては、撤去数、まず考え方としては、そもそもルート変更後は往復型の現状から循環型とすることから、現在、道路を挟んで両側にありますバス停の片方が不要となることとなりますことから、65カ所を予定しております。

あとは、ルート変更後の利用者数の増加見込みということでございます。こちら、シミュレ

ーションとしては、令和元年度ベースでまず申し上げると、令和元年度、北部・南部ルート合計が2,940名の方に御利用いただいたということでございます。ただ、令和3年度、そのルート変更後ということで、あくまで目標でございますので目指していきたいところではあるんですけども、どんなに少なく見積もっても1便当たりお一人は乗っていただけるだろうと仮定した場合に、1日当たりは、1台当たりお一人として1日8便出ますので、1日当たり8名乗っていただけるかなというところなんです。2台それが回りますので、8人掛ける2台で16名、1日当たりあります。年間で換算しますと、16人掛ける営業日が154日と仮定しますと、隔日運行になりますので、2,464名で、これが隔日で運行していく上で北部・南部それぞれ2,464名乗っていただいたと仮定すれば、これの倍額ということで、4,928名ということですね、乗っていただけるんじゃないかなと考えれば、令和元年度申し上げたように2,490名から考えれば、単純計算ですけども、60%以上の増加にはつながればいいなというところでございます。

以上でございます。

○議長（猪岡 壽君） まち整備課長。

〔まち整備課長 相馬伸太郎君発言〕

○まち整備課長（相馬伸太郎君） 高橋勝利議員の御質問に対し説明させていただきます。

児玉工業団地アクセス道路事業の用地買収の進捗率についてでございます。令和2年11月末時点の進捗状況でございますが、面積割合で約89%となっております。令和2年度末、令和3年3月時点では、こちらを95%まで上げていきたいと、それを目指している現在の状況でございます。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） 学校教育課長。

〔学校教育課長 望月 誠君発言〕

○学校教育課長（望月 誠君） 高橋勝利議員の御質問に説明申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策応援事業についての御質問かと思いますが、その中で今回計上させていただいておりますのは、手指消毒用のアルコール等を想定して計上させていただいております。

議員がおっしゃっていらした加湿器、小・中学校に設置する加湿器につきましては、本予算ではございませんでもう既に御承認いただいている予算で設置するものでございますが、事故が発生しているということでございますので、小・中学校には水道水を使うように指導してまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） ほかに質問ございませんか。

3 番高橋勝利議員。

〔3 番 高橋勝利君発言〕

○3 番（高橋勝利君） 工業団地の関係ね、過去に私は何回もやった。何かこのパーセントが余り、失礼だけれども、行ったり来たりしているような感じなんです。以前聞いたときは、もう97%はいつている、あと残り何%かと聞いたときには、もう残りは4%ぐらいみたいなことを答弁したような気がするんですけども、これは私の認識違いなのか、この数字が確実にこうやって上がってきて、ここまで来たというのか、ちょっと教えていただきたいと思います。

○議長（猪岡 壽君） まち整備課長。

〔まち整備課長 相馬伸太郎君発言〕

○まち整備課長（相馬伸太郎君） 高橋勝利議員の御質問に対し説明させていただきます。

以前、6月補正予算の審議の際にその補正予算を御承認いただけた場合には、今年度末、令和2年度末で94%まで進捗できる見込みと説明させていただきました。今回12月補正予算のほうを御承認いただけますと、さらにプラス1%ということで、令和2年度末で95%まで進捗できる見込みとなっておりますので、残りは5%となります。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） ほかに質疑はございませんか。

12番沓澤幸子議員。

〔12 番 沓澤幸子君発言〕

○12 番（沓澤幸子君） 工事請負費のところで、先ほど全員協議会でも議論した部分でありますけれども、請求をする中で図面なども見せていただいたわけなんですけれども、そして、その周辺の店舗の方たちとの話合いの中で協力をいただいたんだから、早急に整備をしていかないと失礼だろうという発言などもありましたけれども、近隣の店舗におきましても、側溝を無断で埋めてしまったりとか、いろんな経過がありました。そういう中で、それぞれ気持ちよく長くいてほしいんですよね。そういうこともありますけれども、それとは別に、急ぐことはいいんですけれども、やはり納得のいく準備だとかが必要ではないかなというふうに思います。

それと、なぜそんなに急ぐのかというところがすごく気になるんですよね。一般質問でも将来的にもイベント会場として使っていきたいということを繰り返しおっしゃっていましたので、そして先ほど全協では緑地としての整備、とりあえず整備していくんだというような発言もありましたけれども、とりあえずとかではなくて、やはり腰を据えて少し議論していくことが望ましいんじゃないかなというふうに思います。思っているんですけども、その点について、なぜそんなに急がれるのか、どうしてもあそこで来年度の50周年イベントをやらなければいけ

ないのか、その辺がちょっと引っかかるので再度お聞きしたいと思います。

さらに、継続費として、これは本来であればもうちょっとしっかり検討して、来年度の当初予算とかで提示してもいいものではないかというふうに思うぐらいなんですけれども、その辺についてお聞きしたいと思います。

○議長（猪岡 壽君） 総合政策課長。

〔総合政策課長 豊田貴志君発言〕

○総合政策課長（豊田貴志君） 杓澤議員の御質問について説明をさせていただきます。

先ほど全員協議会でも申し上げたことと繰り返しになりますが、私どもとしましては、整備方針に基づいて整備をさせていただくものという大前提の中で、本来であれば産業団地の緑地部分として整備されるべきものが、ようやくここに来て地権者様、民間事業者様との調整もつき、公社からの承諾も得られたということの中で土地交換もかなった。機が熟したということもございますし、先ほど議員もお話ありましたように、周辺事業者様の求めからも早急に整備が求められたところということの経緯を経まして、そこが整ったのが、地権者との交渉も今年度に入って調ったということでございます。ですので、あくまで準備が整った段階が現在に至ったところでございますので、まずそこをもって早急に整備できる時期が、この12月補正だったということになります。

以上でございます。

○議長（猪岡 壽君） まち整備課長。

〔まち整備課長 相馬伸太郎君発言〕

○まち整備課長（相馬伸太郎君） 杓澤幸子議員の御質問に対し説明させていただきます。

私のほうからは、継続費に関する説明になります。

まず、多目的広場につきましては、現在設計作業を進めているところでございますけれども、整備は芝生や適度な植樹を主としたものを予定しておりまして、適切な施工時期を考慮し、令和2年度内の工事発注を目指しているというところで、年度内に工事発注しまして、工事自体は来年度まで続く予定となっております。今回12月補正のほうで計上させていただきました金額1,460万につきましては、全体工事費の3,663万円の前払金分、40%分となりますので、その点、御理解いただければと思っております。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） ほかに質疑はありませんか。

7番齊藤崇議員。

〔7番 齊藤 崇君発言〕

○7番（齊藤 崇君） 今のところの私の思いというか考えなんですけれども、具体的に言う

と、今日の全協の前にも議会運営委員会が開かれまして、そこでもちょっと議論したんですけども、やはりやることには反対はしてないんですけども拙速だと。先ほど課長が機が熟したという説明がありましたけれども、この間もちょっと私言いましたけれども、いろんな事業、町は計画あるんですけども、やっぱり今一番関心事といたら何でしょうかといたら、やっぱり新型コロナウイルス感染症でしょう。例えば学校の問題だとか、学校行事の要するに修学旅行だって話も昨日の全協でもありましたよね、キャンセル料が発生したり、ここへ来て、爆発的にまた感染者が県内でも蔓延していると、発生しているということが、これ第一優先だと思うんですよ。だから、先ほど同僚議員が質問した学校庶務係、コロナ感染症対策応援事業でも、こういった消毒液の購入だとかに即対応するわけじゃないですか。

だから、先ほど同僚議員が言ったように、これは3月補正だって、来年度当初予算だって別にいいわけじゃないですか。だから、結局、全協のときも副町長が説明したように、対応した民間業者の方に対しても失礼だということかも、それは確かに一理あると思います。ただただ、やっぱりこういうものは、要するにやり直しというのはなかなかできないでしょう。やっぱりじっくりと議論してやるべき案件だというふうに私は思うんですよ。だから、ここが今12月補正が、来年の3月補正だって別に来年度当初予算だって、別に遅くはないと思うんですよ。相手に失礼だと全然思いません、私は。それはその期間を何しようかといったら、やっぱりもっとじっくり議論して、失敗のないように、これでよかったんだというものができるとなことに進めていければなというふうに思います。

いずれにしても、一番今の関心事というのはコロナですよ。これをこの間の一般質問でも言いましたけれども、体温計だってどんどんできるはずですよ、やる気になれば。だから、そういう、ちょっと問題すれ違えちゃって申し訳ないけれども、そういう今やるべきことを先に優先順位をつけてやらないと、町民は納得しないんじゃないでしょうか。これについて答弁お願いします。

○議長（猪岡 壽君） まち整備課長。

〔まち整備課長 相馬伸太郎君発言〕

○まち整備課長（相馬伸太郎君） 齊藤崇議員の御質問に対し説明させていただきます。

多目的広場につきましては、ちょっと説明がまた重複してしまって申し訳ないんですけども、工作物を最小限に抑えたイベント広場という形で整備をしてまいりたいと思っているところでございます。芝生がメインとなる広場になりますので、そちらの施工時期というのが限られてきます。そのため、今回の12月補正予算で計上させていただきまして、芝生の施工時期を何とか4月あたりまでに施工していきたいという理由から、補正予算で計上させていただいているところでございますので、御理解をいただければと思っているところでございます。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） 町長。

〔町長 山下博一君発言〕

○町長（山下博一君） 齊藤崇議員の御質問に対して、先ほど各課長から御説明しました。こ
こは、今日の全協でもお話ししたとおり、長年あそこへ進出した複数の会社、企業と協議に重
ねてきた、また、とても当初の非整形の形では、公園というか将来的には広場にしてもできな
い。やっとその話、協議が調って、まち整備の都市計画係が優先的に進めている事業でありま
す。コロナのほうはコロナで担当課が努めているわけですから、それぞれの担当課の優先順位、
そういったものをプライオリティをつけて事業を進めているわけでありまして、午前中の全協
でもお話ししたとおり、砂利のままで多目的広場というには、余りにももう準備ができてい
るのに協力いただいた方に対してもやれることはしっかりやっていくと、町としての姿勢をやっ
ぱり示す必要があると思います。

コロナに対してもしっかり担当課が対応していますので、まち整備の都市計画係がしっかり
優先レベルをつけてやっておりますので、御理解いただきたいと思っております。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） ほかに。

3番高橋勝利議員。

〔3番 高橋勝利君発言〕

○3番（高橋勝利君） まち整備課長は、芝がメインと言っていますよね。私、これ芝を植え
ておいて、すぐつくとは思わないんですよ。今のこの時期にやっていかないと、子どもも誰も
遊べない。はっきり言えば、芝がちゃんと定着するには二、三年かかるわけですよ。だから、
今そういうことを優先的にするのであれば、副町長も今日全協なんかで言っていましたけれど
も、あの砂利じゃ何もできない。ですから、そこのところだけは認めてやるべきだと私は思っ
ているんですよ。そうじゃないと何年も先にいってしまうような可能性があります。自分もグ
ラウンドだとか、そういうのを見てきているんですけども、芝を定着させるというのは、そ
のぐらい時間がかかると。ですから、今、齊藤議員も言いましたけれども、優先ということを
言っていますので、この芝だけは入れさせないと、どうしてもあの砂利の広場じゃ、公園とい
うか遊び場とは言えないというように思うんですよ。同僚議員もそういうようなことを意味し
て言っているんで、これは優先でやっていただきたいというように思います。

○議長（猪岡 壽君） まち整備課長。

〔まち整備課長 相馬伸太郎君発言〕

○まち整備課長（相馬伸太郎君） 高橋勝利議員の御質問といいますか、大変うれしいお言葉

ありがとうございます。まち整備課も、高橋議員のほうからもお話しいただいたとおり、芝を定着させる必要がございますので、何とか今回の補正予算御審議いただいて、承認いただいて、早く広場を整備して、子どもたちが遊べるような空間として整えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） 副町長。

〔副町長 江原洋一君発言〕

○副町長（江原洋一君） 全協でも御説明申し上げましたとおり、現況の砂利で、あれが我々の誇るSA周辺の姿なんだと、そういうことで認識するんであれば別でしょうけれども、そうじゃない計画をずっと前から立てて、それで不整形のままできたわけで、そういうことを関係者の間で話しながら、町の要請にも応えてくれて一定の合意ができたわけですから、合意を得る上では、やはり緑地にするという形で姿を示しながら、こういった形ではいかがでしょうかと、そういった形で示してきて合意ができたわけですから、それはやはり早急に実行していくのが筋だろうと思います。また、それを覆せば、またいつ合意ができるかどうか分からなくなってしまうわけですね。もちろん、再三議論が出ているように、町長もお話ししているように、グランドデザインというのは確かにあると思います。しかし、それへのステージの一步として今回のことをお認めいただいて、砂利ではなくて緑にしていくと、そういうのが取りあえずまず第一歩だというふうに思いますので、どうかよろしくお願いいたします。

○議長（猪岡 壽君） 11番納谷克俊議員。

〔11番 納谷克俊君発言〕

○11番（納谷克俊君） 質問しないでおこうと思ったんですけども、今のお話を聞いた限り、質問せざるを得ないなと思いました。

まず、1点目、今回この補正予算が通らなければ合意が崩れると、こういうお話ですが、どの部分の合意が、周辺の事業者との合意が崩れるんでしょうか、実現できなくなるんでしょうか。

続いて、いきましょう。同じところ、補正予算書の10ページですか、款7土木費、項4都市計画費、目2施設公園費のところの役務費から公有財産購入費まであります。今回こういう形で出てきました。全員協議会も開く予定ではないところで開いて、要求したら図面が出てきたという形になります。

さて、そのような中で少し不信感があるわけではありますが、これまで町は粛々と進めてきたことは理解をしております。事業者との合意も図ってきたのは分かる。

では、そこで伺います。令和2年10月14日に開かれました農村公園周辺農業活性化勉強会で

は、どのような説明をされ、出席された方からはどのような意見が出たんでしょうか。

それから既に2か月近い日がたっております。この中では案件として、このはなパーク多目的広場整備に伴う進捗状況について、報告事業についてということであります。ここで報告されたことが、恐らくもうこの時点で町の腹だったと思うんですが、今日までこういったものが説明されてこなかった。たまたま今回、2人の議員が一般質問した中で、その内容が分かってきたということでもあります。

次に、9月28日に落札をされましたこの実施設計の委託でありますけれども、まだ完全な成果物が上がってきているわけではないというお話でした。その中でも側溝だとか、造成、側溝の布設替え、芝生、インターロッキング等、おおよその平米数等出ているから、これで工事費を積算されて、今回工事費を計上してきたということではありますが、9月28日から私が一般質問した日でちょうど70日、熟議が足りないというお話をさせてもらったら、案の定、まだ確定したものが出てきている状況じゃない中で工事費の計上ということで、別に法的に問題ないですよ。ないけれども、本来の流れと、フローチャートと違いませんか。出てきたものに対してしっかり熟議をして出すべきものだと思っております。

また、本日示された図面にもありますけれども、この舗装の部分ですね、車止めがあって舗装になるところの部分でしょうか、車道面積、この車道が隣の白地のハウスのあるところに縦帯の側溝が入ってますよね。ということは、これ車通ることが前提ですよ。北側もそう。B区画の今操業している会社、これ縦帯の側溝入っていますよね。ここ車通すんですか、そもそも。

それから、緑地、ここはもともとの開発のときの緑地だと言いますけれども、B区画の残置1,900平米は緑地じゃないよ、もともと、ないですよ。だとしたら、違った使い方もあるんじゃないですか。必ずしも芝生型緑地にする必要があるんでしょうか。

さて、芝生の養生の話も出ました。確かに芝生ということは、芝生は養生期間要と思います。芝生の施工の一番不適な時期というのは、当然冬の乾燥している時期、それから夏の時期であります。秋に間に合わせるんじゃないかなければ、それを過ぎて、同僚議員からもありましたとおり、新年度の当初予算の中でもって新年度の早い時期に発注をすれば、一番比較的土木事業者が手のあいているとき、そのときに造成を進めていき、芝生の張りは夏の暑い時期が過ぎたときでもということを考えれば、翌年の春の一番いい時期に開放できるような形になるのかなと思います。あくまでもこれは秋に使いたいという前提があるから、そういうことで言っているわけであって、芝生は、私確認しましたからね、芝生、先ほどお昼休みに大手東証一部の上場の種苗会社の担当者に確認をしました、芝生の植えつけ時期。なので、なにも4月だけじゃないですよということですね。それから、高麗芝もいいんですけども、野芝という手もあるのかなと思うんですね、管理上とか強いということを考えるとかね。

そういったこともこれからやっぱり考えていかなくちゃならないんじゃないかなと思うんですよ。まず、B区画の残地は、もともと緑地じゃないということね。それから、B区画のところから入っている排水路はどうするのか。既存の多分配管が入っているんじゃないかなと思いますけれども、そういったこともどうするのか。

繰り返しになっちゃうんですけれども、この中で心配しているのは、車道面積268平米の両サイドが縦帯側溝が入って、ここはもう隣地と車が通ることを前提に考えられているということが、ちょっと問題あるのかなと思います。

ですので、何か言葉のマジックみたいな感じで、今しかないんだよというふうに誘導されがちなんですけれども、それは来年の秋を目指しているからだけで、再来年の春とかだったら何の問題もないじゃないですか。

砂利に放置しておくのはいかなものかと、当然それはそうですよね。じゃ、同僚議員の質問にもあった、じゃ、そこを、あの土地を緑地で広場になっていたところを、側溝ののり面を埋め立てて通行していたというのは、どういうことですか、じゃ。それでいいんだ。コンプライアンス的にはいいんですか。だって、通行していたんじゃない、道路に使っていたね。そういうことはどうなんですか。もっと言えば、何で町だけがそうやって周りに折れる必要がある。当然一緒にやっていくんだったら、お互いですよ。

まず、前回の繰り返しになりますけれども、このB区画の残置と言われていたところ、土地開発公社の当時土地だったところに、しっかりグーグルアースの写真にも写っている、車の駐車場に使われていた、これはJAさん。そもそもB区画の残地を買うときに、経営状況等鑑みて、残地は将来的に買うという話だった。道路に面しているところ、手前の価値の高いところをこっちも残して、普通だったらこっちのほうが価値があるわけ、奥も残っているわけ。でも、その中で同じ値段で買って、将来買ってくださいよという話になった。そういったことが全部崩れて、今これになっているわけですよ。なので、町だけ折れるのはおかしくありませんかという話なんですよ。お互いじゃないですが。それが半年待てないのかという話ですよ。しっかり議して。半年にならなくてもいいですけれども、2か月、3か月の話じゃないですか。とにかく話の持っていく方が強引過ぎる、過ぎるんですよ、今じゃなければ駄目だと。

まず、今じゃなければ、今この予算を通さなければ何の合意が、前提が崩れるのか。そこから何点か質問させていただきましたけれども、答弁をお願いいたします。

○議長（猪岡 壽君） 副町長。

〔副町長 江原洋一君発言〕

○副町長（江原洋一君） 私が申し上げているのは、産業団地という観念、考え方がありますよね。その産業団地で工場を建てて、そして目的が達成される、そういう考え方から、計画の

中でやはり観光なり交流拠点なり、そういったものにあそこの場所を仕立てて育てていきたいというふうに考え方が変わっているんだろうと思うんです。そういう中でいくと、できるだけ早く砂利ではなくて緑にしたほうがいいんじゃないか、そういうふうに申し上げているわけでございます。

○議長（猪岡 壽君） まち整備課長。

〔まち整備課長 相馬伸太郎君発言〕

○まち整備課長（相馬伸太郎君） 納谷克俊議員の御質問に対し説明をさせていただきます。

ちょっと説明がちょっと漏れないようにメモ取ったつもりですが、順次説明させていただきます。

1つ目、設計ですね、今現在進めている設計作業につきまして、まだ図面のほう確定してないというふうな説明をさせていただいておりますが、工期としましては12月25日までの工期で設計作業を進めております。現在、広場の利用等、隣接の事業者の方とも協議する必要がある箇所があつたりしますので、そういった点でまだ図面のほうが確定してないというところでございます。

それと、車両ですね、配付させていただきました図面のうちピンク色の塗ってある箇所、車両用の道路整備ということで説明させていただきましたが、こちらにつきましては、地区の来訪者の方にも利用していただきたいということもありまして、その辺の利用環境も考えまして、現在、隣接事業者と協議を進めているところでありますので、これはまだ案の段階でございます。

それと、また、芝生の植える時期ですね、これは今回の補正予算じゃなくても大丈夫じゃないかというような質問でございますけれども、工事の内容としましては、雨水側溝の付け替え工事をやってから、造成も併せてやりますが、その後最後に芝生の植え込みがあります。そういった点で、今回の12月補正予算で計上させていただきまして、年度内に工事を発注し、早ければ年度内から工事を開始して、何とか7月あたりまでに芝生の植え込みを終わらせたいというようなことで工程としては考えているところでございます。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） 産業振興課長。

〔産業振興課長 山下容二君発言〕

○産業振興課長（山下容二君） 納谷議員の農村公園の活性化勉強会についての御質問について御説明させていただきます。

こちらについては、出席者が、その事業をやっている3事業者、あるいは埼玉県であったり、町の関連する担当課等が集まって、ここの周辺の活性化についてどういった取組をしてい

ったらよいかというソフト事業、イベント系を検討する場でございます。こちらについては、当課でも担当している春まつりというのがございまして、そちらが4月に開催されるということとであります。それについて、新型コロナウイルスの関係でなかなか開催が難しい状況があるということが1つございます。それと、もう一つ、例年、2年前から行われているオータムフェスという秋の周辺事業者の創業祭と併せてやっている事業、これが非常に似ている事業ということで、何とか1つの地域の産業祭みたいな形でくくりができないかということで検討を行ったところでございます。その中で今お話が出ているこのはなパーク、名称も去年のオータムフェスで募集をして決まったものですが、こちらで開催するに当たって多目的広場が同時期にできる状況があるということが少し情報としてありました。イベント実行課としては、場所については、オータムフェスをやった会場はちょっと今整備されていない場所を使いながら、中央軒さんの土地をお借りしたり、農協さんに御協力いただきながらやっていた状況ですので、整備された状況でタイミングとして合えば、そこを創業祭として新たな事業として取り組めればということをお話をさせていただいたわけでございます。そこは、それ以外にも、その周辺の活性化について、例えば農協さんがやっている田んぼオーナー制度だったりとか、様々な形で活性化について議論しているところでございます。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） 総合政策課長。

〔総合政策課長 豊田貴志君発言〕

○総合政策課長（豊田貴志君） 納谷議員のB区画残地はそもそも緑地ではないという御指摘につきまして補足をさせていただきます。

確かにおっしゃるように、こちらのB区画残置につきましては、土地開発公社の所有地ということで当地がありました。ですので、厳密に申し上げますと、確かに緑地ということそのままであるのは無理があるという御指摘はごもっともかと思えます。ただし、こちらにつきましては、7月14日の公社理事会においてB区画残地、公園用地として町へ譲渡するという御承認をいただいたことを踏まえまして、町としましてもこの予算計上につながっておることは、経緯として改めて付させていただきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（猪岡 壽君） 12番沓澤幸子議員。

〔12番 沓澤幸子君発言〕

○12番（沓澤幸子君） 様々な議論がされているわけなんですけれども、いわゆる将来的な部分としてそこを緑地化していこうということに、議会としてすごく大きく反対している意見はないと思うんですね。ただ、段階を踏まない、かなり強引なやり方に見受けられますし、あ

とは、合意が得られなければ合意が崩れるという先ほどの説明は、非常に何か納得がいかないんですね。やはり双方が、町もかなり遠慮をしながら協議をしてきていると思うんです。

やはり砂利のままでいいのかと、いいとは思っていません。そのために納得のいく議論をしていこうではありませんかと言っているのに、今認めなかったらそういう気持ちがないのかというような、そういう答弁の返し方がちょっと納得できませんし、一般質問において町長が繰り返し言われたのは、将来的にもあの場所はイベント会場として、だけでも、全協で説明を受けていくと、取りあえず緑地化することが大事なんだと。何か本来的なきちとした議論というのがどうなっているのかなというふうに思ったりします。

私は、この図面を見せてもらっても、まだちょっと納得のいかない部分がありますし、これだけでは、つながっていく道路がどうなって、どこで車が方向転換して、こっちへないわけですから、そういう余裕がどういうふうに取りられるのかとか、全くこれ見て想像がつかないんですね。だから、きちとした納得のいくものをつくる提案がまず先じゃないかというふうに思うんですけれども。中学校造るときも保育園を造るときも、これは建物ではありますけれども、かなり細かい設計や、庭のここにこういう木を植えるとか、かなり細かい提案がされて議論してきていると思うんですけれども、植樹すると、何の木を植えるんだろうとか全く分からないですよ。

だから、後は全てお任せくださいということなのかどうか、お尋ねしたいと思います。

○議長（猪岡 壽君） 町長。

〔町長 山下博一君発言〕

○町長（山下博一君） 午前中、この件に関しても議論しました中に、この上里サービスエリア周辺地区整備方針というのを御説明しました。この中に、水辺ゾーン、公園ゾーン、それから農業体験ゾーンと3つのゾーンで、まず公園ゾーン、緑地といいますか、多目的広場というところで考えていきたいというところであります。

ただ、一般質問でも高橋茂雄議員からも、このビニールハウスの施設について、これは民間の所有施設なんですけど、将来的にどうするんだという話がありまして、私どもとしては、例えばグランドデザインをつくった中に農業体験ゾーンに移転してもらおうとか、そういったこれから大きな協議が必要かと思っています。

また、一方では、この水辺ゾーンというのは、国のほうから、国交省のほうからもこの辺についても提案があったり、上里町はリバーサイクリングプロジェクトということで国のほうから選んでいただきましたが、このサイクリングロードの整備を国のほうからもやろうということと進めています。この多目的広場だけにとらわれず、この全体を、この周辺地区の整備方針にのっとって進めていくということとあります。この多目的広場だけで議論していった先に進

まないということになると、じゃ国のほうから、町は何やっているんだと。やれることをやっぱりしっかりやって、国と連携してやっていくのが私どもの役目かと思っております。それがひいては、町民のためになるかと思っております。

こういった整備方針を決めているわけですから、この中で、じゃ、水辺ゾーンはどうしたらいいとか、農業体験はどうしたらいいかと、そういった御提案なり、この公園ゾーンも、じゃそういった中で過去の産業団地に進出した企業に対して町がどうのこうのという話じゃなくて、やっぱりウィン・ウインの関係でやっていかないと、未来的にも発展がなされないということであります。お互いの信頼関係がなければ、これ事業が進みませんので、末梢の部分で過去にあったことを問題視してやるよりも、これからの未来志向でお互いにウィン・ウインの関係で。今実際、先日、大野知事が来たときに、あそこのカンターレさん、非常にお客さんが少なくて苦戦している状況です、何とかして町としても、せっかく上里町に進出した企業を応援していくのが自然じゃないですか。

やっぱりそういったことを議会のほうも御理解いただいて、こういったところ、多目的な中心になるところを、これからまだ本当に午前中でも「隼より始めよう」という話を私のほうからしました。その一歩ですよ。そういったところを、最初から足を引っ張っているとは言いませんけれども、議論議論といったら一向に進まない。だから、走りながら議論してもいいと思うんですよね。そんなところで、是非議会の皆さんにも御理解いただいて、町の進むべき方向、議会と一緒に、こういった整備方針を遵守しながらいきたいと思っておりますので、御理解をいただければありがたいと思っております。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） 11番納谷克俊議員。

〔11番 納谷克俊君発言〕

○11番（納谷克俊君） 繰り返しというか、今日全協じゃないから、ここでは言っていないか。いいんですよ、こういった例は、いいんです。

それを実現していくためだったら、なぜこれだけいろいろ意見が出ていて、しかも設計の業務委託が25日まででしょう。芝の話も来年の秋と言っているから、今やらなければ駄目だと言っているわけでしょう。でも、来年の秋云々って話じゃないと、今町長言っているわけですよ、もっと先のことだと言っているわけ。何で、じゃもう少しここで熟慮できないのかという話をしている。

じゃ、再来年の春に芝を開放できるようにするんだったら、これ全部ずれてくるわけですよ。まち整備課長の説明分かりますよ。当然、まず側溝の布設替えからしなければいけない、造成ね。じゃ、それが例えば3月の補正であつたり当初予算にしたところで、それが少しずれ

ていって、芝の張る造成の時期が、一番逆に言えば、側溝布設替えだとか造成は土木業界が一番仕事が少ないと言われているときにできて、じゃ夏をおいて、その後芝を張れるよねという話なんですよ。来年の秋にこだわっているから、こじつけに聞こえてしまうんですよ、全て。

我々は別に足を引っ張っているわけではない。順調にいくために、最初のボタンのかけ違えは直しましょうよと言っているんですよ。これだけお互いの考えの中でそこがある中で進めていけば、どんどんこじれちゃう。だから、たかが、たかがなんておかしい、ずっと積み重ねて長い間かけてきているたかがですよ、たかが2か月、3か月の話じゃないですか。なんでそんなにこり押しするんですかという話をしているわけで、誰も反対してないでしょう、こういったことを、町の発展のためにやっていることは。反対のために意見出しているんじゃないんですよ、よりよくなるために、ちょっと立ち止まったほうがいいんじゃないですかと議論をしている。かけ違えたままどんどんどんどん行っちゃったら大変ですよということ言っているんであって、とにかく来年の秋にオープンをずらす、1回ここから外して、再来年の春でもいいんじゃないですかという話をしているわけなんですけれども、足を引っ張っているわけではないし、それが伝わらないんですよ。

それは、だからいつまでたっても、いや、今ここで予算通さなければ、今年度内発注しなければ、芝が張れないんだ、オープンできないんだということになっちゃうんで、もうこれどこまで行ってもあれですね、ちょっと平行線になってしまうんですが、私たちの質問している意味は、そういうことなんです。だから、ちょっと立ち止まって、もう少し熟議してからでいいんじゃないですかということなんですけれども、いかがでしょうか。

○議長（猪岡 壽君） 町長。

〔町長 山下博一君発言〕

○町長（山下博一君） 納谷議員が秋、秋と言っているんですけれども、別に秋に私こだわっているわけじゃなくて、先ほど山下産業振興課長から話ありましたように、オータムフェスタというのは、あの地域の産業発展ということであります。お客さんを集めて、せっかく多目的広場ができれば、そういったところの機会を捉えてやっていこうということでございます。別にこだわっているわけではありません。

ただ、現実に見ますと、あそこの産業団地に進出した企業も非常に、中央軒煎餅さんにしろ、非常に今コロナ禍の中で大変苦戦している状況、観光バスも集客の柱だったんだけど、それが来ていない、寄せられない。そういう現実を考えると、一日でも早くやはり多目的の広場に、サービスエリアに来るお客さんをああいうところで広場に集まって、いろいろな地域の活動、そういったものをやる機会を与えるのが、我々自治体の一つとしての役目であるんじゃないかと思っております。

それぞれの各民間の企業も、それぞれの立場で活動している、町は町でやれることはやると、そういう方針で一つの計画を今立てているわけですから、別に無理にとか強引にとか、そういうことじゃなくて、計画どおりに進めているということでもありますので、余りそういった誤解なされないようにいただきたいと思います。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） ほかに質疑はありますか。

4 番飯塚賢治議員。

〔4 番 飯塚賢治君発言〕

○4 番（飯塚賢治君） 4 番飯塚です。

そういう今の町長のお話でしたが、それであれば、もっと丁寧に、いつも副町長がおっしゃるように、丁寧に議員のみんなに説明をした後、この1,460万ですか、これを見てびっくりしたんですよ、みんな、確かに、この話聞いてないぞということですよね。私もそういうふうに思いました。であるならば、事前にそういう会が、全員協議会だってあったわけですから、そのところでこの問題出しておけばよかったと、俺は思いますね。それが今朝のちょっと私たちもいろいろ動揺した問題になってしまいました。ここは、きっちりやっぱり執行部のほうは反省せなならんと私は思いますが、この件について、町長どうでしょうか。

○議長（猪岡 壽君） 町長。

〔町長 山下博一君発言〕

○町長（山下博一君） 飯塚賢治議員の御質問に対して答弁させていただきます。

確かに今日の全協の中でもそういった説明不足だったというのは、私もちょっと認識しております。そういった意味で、この全協での質問についても十分な説明といいますか、時間は午前中、今日の本日の説明の中で十分討議させていただいたと私は思っていますが、まだまだそれでも十分な説明になってないということであれば、もう少しそういった意味で時間が足りなかったのかなと、全協の場でそれは皆さんとの協議の段階で時間との関係で説明不足だったというのであれば、おわび申し上げたいと思っています。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（猪岡 壽君） 質疑がないようでございますので、これより討論に入ります。

討論はありませんか。

11番納谷議員。

〔11 番 納谷克俊君発言〕

○11番（納谷克俊君） 11番納谷であります。

御提案されました議案第79号 令和2年度上里町一般会計補正予算（第7号）について、反対の立場から討論させていただきたいと思います。

全体においては、早めに補正予算通して執行していただきたいと思うところでありますので、本日の議会運営委員会でも、そういったことを加味した中で、一部、唐突感のあった部分にしましては何とか考えていただけないかということでありましたが、どうしても提案されるということで、ここまで質疑をしてきたわけであります。

先ほど町長から、今回の今日の全員協議会の中で説明を尽くしたつもりだというお話でありましたが、そもそも本日の全員協議会はセットされていたわけではありません。何もなければ、本日は朝9時に開会をして、もうとっくにこれ提案されていたものでありまして、簡単に言いますと、当然ながら予算の提案権、それから執行権は町長の当然専権事項であります。議決をしなければ執行できないということに関して、認識、我々が予算提案したことに対して、当然に議会は賛成するものだというのがもう見えてしまっている。そういう気でないとおっしゃるかもしれませんが、多くの議員はそう感じたでしょう。

9月議会に測量と設計の補正をいたしました。土地の交換ですね、購入もそうでした。それから、この12月定例会です。多くの皆が、どんな緑地、広場、公園ができるんだろうという中で何も示されず、その間、10月14日には勉強会の中でもう既にこういった事業やりますよと、10月24日にはこのはなフェス2021、そこでオープンの50周年に合わせてオープンのお披露目するんだというようなお話をされたり、これには副町長も開会当初に挨拶をされているんですし、幹部職員が皆さん出ていらっしゃるんですよ。ところが、この間、説明が議会にはない。こういうことをしたい。あつてしかりだと思えるんですよ。それを当日、騒がれてから、このような形で答弁をされ、しかもそれがまだまだ皆が納得できないという状況の中では、残念ながら賛成するわけにいかない。

12月定例会は週明け月曜日までであるわけでありますから、是非もう一度この部分に関しては考えていただいて、再度その部分を除いたところで審議をしたいというのが私の考えでありまして、多くの予算に関しては賛成であります。この工事請負費関連、このはなパークの関連の部分を取り上げまして到底納得できる状況ではございませんので、反対とするものであります。

以上で、少しちょっと急なお話で、質疑をしながらの感想での討論となってしまいましたのでまとまらないんですが、以上で反対の討論といたします。

○議長（猪岡 壽君） ただいま、議案第79号に対して反対の討論が出ております。

賛成の討論があれば発言していただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

3 番高橋勝利議員。

〔3 番 高橋勝利君発言〕

○3 番（高橋勝利君） 賛成の討論させていただきたいと思います。

今日の最初の朝からの我々の行動というのを振り返る必要があると思うんですよ。昨日、そういう全協を開いて今日を迎えたわけですけども、当初9時から本会議場で議会が行われるというふうにして私たちは来ました。ところが、9時になっても何ら説明がないまま、ここに植原さんはもう30分前、かなり前に来ていたわけですよ。私も、別に用がないので早く来たんですけども、どうしちゃったんだろうということが一番引っかかる場所なんですよ。

それは、動議が出された。だから、それについて議運を開いたんだというふうに理解しているわけですね。だけど、そうなれば残された人たち、議員がどれだけそのことについて理解して待っていたかというのが全然分からない。確かに、納谷さんだとか言っていることについては分かるんですけども、やっぱり全部で考えると……

○議長（猪岡 壽君） 高橋議員、ちょっと申し上げます。

もう経過は大体皆さん分かっていますので、そのことについて賛成か、反対かについての討議をお願いします。

○3 番（高橋勝利君） 私は、一連の予算について、ここに上げられていますよね。これについては全体的に賛成して、予算の執行をしてもらうということが、これからの町の執行、行事について大きく影響を与えますので、私は賛成したいと思う。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） ほかに討論があれば。

12番沓澤幸子議員。

〔12 番 沓澤幸子君発言〕

○12 番（沓澤幸子君） 12番の沓澤です。

議案第79号 令和2年度上里町一般会計補正予算（第7号）について一部反対でありますので、反対討論を行いたいと思います。

先ほど来説明された多くの内容については、賛成するところも非常に多いんですけども、工事請負費であります、この上里サービスエリア周辺地区多目的広場整備工事費については、やはり今回午前中、議員の提案というんでしょうか、議員からの要望に応じて町が説明をしていただいたわけでありまして、当初の説明は、この図面、先ほど来、町長が示した図面だけでありました。さらに詳しく、図面がまだ完成してなくても出ているなら示してほしいと言われる中で、ようやく示された図面であります。そもそも、町が、そのような段階を打って議論しているにもかかわらず、何らそうした説明がされてこなかったわけですね。

私なども、9月の補正予算でやっと交換とかが成立して、用地が、きちっとした形での用地が確保できたということは、よかったなというふうに思っています。その前、私もちょっと不勉強で分からなかった部分もありましたけれども、同僚議員のほうは、側溝を勝手に埋めたとか、そういう事情なども指摘しておりましたので、きちっと話がついた段階で、そうしたことが粛々と整備されていくであろうというふうに期待をしておりました。

住民についても、公園として整備していく方向で用地が確保できたということを伝えたところ、若い方からは、どんな公園ができるのともう早速すごく期待の声もありました。しかしながら、これからそうしたことは議論していけると思うんですよと言っていた矢先に、全く議論もなしに、いきなり出てきた感がやっぱり拭えないです。

先ほど来の議論からいきますと、これを今回承認しなければ、店舗の商業関係者との合意さえも崩れてしまうんだとか、このことを今通さなかったら、サービスエリア周辺地区の整備方針の足を引っ張るとか、そういう何か議員たちが脅されているような錯覚に陥ります。そうじゃなくて、やはり町民も望む周辺の整備。で、今店舗の売上げが落ちているのは、コロナ禍で、そこだけじゃないですね。全ての地域の全ての人たちが苦しんでいることです。こんなに急いだからといって、コロナの収束状況によってはオータムフェスさえもできない可能性だってあるわけなんなんです。だから、1つのことでごり押しされようとするのではなくて、やはり立ち止まって、みんなで納得していいものをつくり上げていこうという提案でありますので、そうした立場に町が是非立ってほしいと私は願っています。

今回、これだけの事前の全員協議会であっても、それでもなおかつこのまま出てくるということをそのまま認めることは、何か議員の価値というんでしょうか、それだったら議会はもう不要じゃないかというような気持ちさえ感じてしまうんですね。ですので、もうちょっと議論を、立ち止まって議論してほしい。そういう意味で、今回この補正、その1点のところで反対したいと思います。

○議長（猪岡 壽君） 8番植原議員。

〔8番 植原育雄君発言〕

○8番（植原育雄君） 一般会計補正予算（第7号）、これについて賛成の立場で討論したいと思います。

これは、全協においても、この補正予算の審議においても、十分執行者側の考えも聞いて、議員さんも不明な点、納得できない点は質問していると思います。

それで、この上里SA周辺地区多目的広場工事費1,460万、それと継続費も絡むわけでありますけれども、これだけが補正予算として計上されているわけではなくて、ほかにも大事な補正予算が同時に計上されているわけです。そういうことを考えると、ただ単に反対するというこ

とではなくて、町長も説明不足だったというような陳謝もしているわけでありまして、今後の状態を考えてみれば、執行者側も今後は十分議会側と協議をして、その上でいろんな予算が計上されてくると思います。そういったことを考えますと、ただ単にこの補正予算を反対するのではなくて、もっと先を見て、十分な今後執行者側と議員の間でいろいろと意見を交換して、それで上里町発展のために我々は住民のためにやはり努力をしていく必要があると思います。

そういった考えで、今回の一般会計補正予算（第7号）につきましては、賛成という討論にしたいと思います。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） ただいま、賛成討論、反対討論2名ずつ出ております。これで討論を終了いたします。

これより議案第79号 令和2年度上里町一般会計補正予算（第7号）についての件を起立により採決いたします。

なお、起立は、明確に賛否人数を宣告するまでちょっと立っててください。お願いします。

それでは、本案は原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（猪岡 壽君） 起立多数であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

通告いたします。本日の会議時間は、議事の都合によりあらかじめ延長いたします。

会議を続行いたします。

暫時休憩いたします。

再開は17時10分からといたします。

午後4時52分休憩

午後5時10分再開

○議長（猪岡 壽君） 休憩前に引き続き会議を続行します。

◎日程第14 町長提出議案第80号 令和2年度上里町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について

○議長（猪岡 壽君） 日程第14、町長提出議案第80号 令和2年度上里町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明及び議案の説明を求めます。

副町長。

〔副町長 江原洋一君発言〕

○副町長（江原洋一君） 御提案申し上げました、議案第80号 令和2年度上里町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について御説明申し上げます。

令和2年度上里町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによります。

まず、第1条ですが、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億5,163万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ30億6,910万5,000円とし、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表歳入歳出予算補正によると規定するものでございます。

2ページを御覧ください。

第1表歳入歳出予算補正でございます。

初めに、歳入ですが、款4県支出金は2億3,669万7,000円の増額補正となり、歳出の保険給付費の増額により県補助金を増額補正するものでございます。

款6繰入金は20万8,000円の増額補正となり、歳出の保険給付費及び保健事業費の増額により一般会計繰入金を増額補正するものでございます。

款7繰越金は1,473万円の増額補正となり、歳出の諸支出金の増額により前年度繰越金を増額補正するものでございます。

歳入合計は、現計予算に対して2億5,163万5,000円を追加し、30億6,910万5,000円とするものでございます。

次に、歳出ですが、款2保険給付費は2億3,689万7,000円の増額補正となり、国保一般被保険者の療養給付費や高額療養費、葬祭費の増額によるものでございます。

款5保健事業費は8,000円の増額補正となり、保健衛生普及事業の燃料費の増額によるものでございます。

款7諸支出金は1,473万円の増額補正となり、保険給付費等交付金償還金の増額によるものでございます。

歳出合計も歳入同様、現計予算に対し2億5,163万5,000円を追加し、30億6,910万5,000円とするものでございます。

以上、国民健康保険特別会計補正予算の提案説明とさせていただきます。

慎重御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げます。

○議長（猪岡 壽君） これで提案理由の説明及び議案の説明を終わります。

これより質疑に入ります。質疑のある方は順次発言を許可いたします。

質疑はありませんか。

12番沓澤幸子議員。

〔12番 沓澤幸子君発言〕

○12番（沓澤幸子君） 保険給付費が非常に増額しているわけですが、何か大きな理由というのがあるのでしょうか。

○議長（猪岡 壽君） 健康保険課長。

〔健康保険課長 及川慶一君発言〕

○健康保険課長（及川慶一君） 沓澤議員の御質問に御説明させていただきます。

おっしゃるとおり、保険給付費については大幅な伸びを示しているところでございますが、当初の予算計上の仕方といたしましては、県のほうで算出している金額をベースに計上しているといったところから、現状の実績をある程度加味しながらやっているというようなところから乖離が出ているところでございます。

また、今年度、令和2年度の傾向といたしますと、入院が若干去年と比べまして7%ほど上がっているというような状況でございます。また、外来、歯科、調剤関係は若干落ちているところでございます。しかしながら、先ほど申し上げましたように、当初の予算を上げる際の県の見込み額との乖離が大きな原因かなというふうに思っているところでございます。

また、一般高額療養費につきましても大きく上がっているところでございますが、こちらにつきましては、前期高齢者の自己負担金が移動する、3万5,400円から8,000円に移動するといったこと、また、がん治療薬などの新薬の高額化、この辺がやはりまだ影響が出ているといったようなところで、高額のほうが上がっているというような状況でございます。

以上でございます。

○議長（猪岡 壽君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（猪岡 壽君） 質疑がないようですので、これで質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（猪岡 壽君） ないようですので、これで討論を終了いたします。

これより議案第80号 令和2年度上里町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）についての件を起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（猪岡 壽君） 起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◇

◎日程第15 町長提出議案第81号 令和2年度上里町介護保険特別会計補正予算（第3号）
について

○議長（猪岡 壽君） 日程第15、町長提出議案第81号 令和2年度上里町介護保険特別会計補正予算（第3号）についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明及び議案の説明を求めます。

副町長。

〔副町長 江原洋一君発言〕

○副町長（江原洋一君） 御提案申し上げました、議案第81号 令和2年度上里町介護保険特別会計補正予算（第3号）について御説明申し上げます。

令和2年度上里町介護保険特別会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによります。

第1条ですが、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4,884万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ19億5,162万6,000円とし、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表歳入歳出予算補正によると規定するものでございます。

2ページを御覧ください。第1表歳入歳出予算補正でございます。

初めに、歳入ですが、款2国庫支出金は1,469万3,000円、款3支払基金交付金は1,276万2,000円、款4県支出金は624万9,000円、款5繰入金は670万2,000円の増額補正となり、歳出の総務費や地域密着型介護サービス給付費などの保険給付費の増額に伴い、国や県等の負担割合に応じてそれぞれ増額するものでございます。

款6繰越金は844万2,000円の増額補正となり、前年度繰越金の増額でございます。

歳入合計は、現計予算に対しまして4,884万8,000円を追加し、19億5,162万6,000円とするものでございます。

次に、歳出でございます。

款1総務費は159万円の増額補正となり、介護保険システム改修業務委託料の増額となっております。

款2保険給付費は4,725万8,000円の増額補正となり、地域密着型介護サービス給付費や高額介護サービス費などの増額となっております。

款4地域支援事業費は、保険者努力支援交付金の内示に伴い、対象事業費437万9,000円の財源更正となっております。

歳出合計につきましても歳入同様、現計予算に対しまして4,884万8,000円を追加し、19億5,162万6,000円とするものでございます。

以上、介護保険特別会計補正予算の提案説明とさせていただきます。

慎重御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げます。

○議長（猪岡 壽君） これで提案理由の説明及び議案の説明を終わります。

これより質疑に入ります。質疑のある方は順次発言を許可いたします。

質疑はありませんか。

12番沓澤幸子議員。

〔12番 沓澤幸子君発言〕

○12番（沓澤幸子君） 介護保険についても、保険給付費に伴って入のほうはそれぞれ国と県と町が分担するということになると思うんですけども、介護保険給付費、特にこの地域密着型介護サービス給付費が大きく増額になっていますけれども、介護認定された方が増えているのか、それとも認定された方の中の利用者は変わらないけれども受けるサービス、お一人の受けるサービスが増えているのか、その辺の具体的な内容についてお聞きします。

○議長（猪岡 壽君） 高齢者いきいき課長。

〔高齢者いきいき課長 間々田由美君発言〕

○高齢者いきいき課長（間々田由美君） 沓澤議員の御質問に御説明させていただきます。

今回、地域密着型介護サービス給付費2,629万9,000円の増額補正の内容ということでございますが、大きな理由としますと、当初予算計上したときの利用者の見込み人数が増えたことと、令和2年度の介護報酬改定分が利用料に上乗せで給付費として支払うことになっておりますものが大きな影響となります。

御質問にありました、利用者の認定者数の増が影響するのかということでございますが、認定者数につきましては、年間で例年10人ほどの増となつてございますので、認定者の増加による給付費の増というのは、ちょっと見込めないところと思います。

ただ、支払い状況を見えますと、利用者の状態の変化が介護度によりまして負担額の割合が異なっております。その9割分を介護保険のほうで国保連合会のほうに支払う形となっておりますので、状態によって上限する部分が、この人数によるものとの一致の中での給付の増というものではないのですが、そういった部分を加味した中での総額、こちらの増額補正をお願いするということでございます。

以上です。

○議長（猪岡 壽君） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（猪岡 壽君） 質疑がないようですので、これで質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（猪岡 壽君） ないようですので、これで討論を終了いたします。

これより議案第81号 令和2年度上里町介護保険特別会計補正予算（第3号）についての件
を起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（猪岡 壽君） 起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎日程第16 町長提出議案第82号 令和2年度上里町下水道事業会計補正予算（第2号）
について

○議長（猪岡 壽君） 日程第16、町長提出議案第82号 令和2年度上里町下水道事業会計補
正予算（第2号）についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明及び議案の説明を求めます。

副町長。

〔副町長 江原洋一君発言〕

○副町長（江原洋一君） 御提案申し上げました、議案第82号 令和2年度上里町下水道事業
会計補正予算（第2号）について御説明申し上げます。

まず、第1条において、令和2年度上里町下水道事業会計の補正予算（第2号）は、次に定
めるところによると規定いたします。

第2条においては、令和2年度上里町下水道事業会計予算第3条に定めた収益的支出の予定
額を、次のとおり補正するものでございます。

今回の収益的支出の補正につきましては、下水道事業の職員給与費等に不足が生じるため、
給与費等の増額補正を行うものでございます。

支出予算につきまして、第1款事業費を既決予定額に対しまして35万円増額し、2億3,597
万7,000円とするもので、第1項営業費用を増額する補正でございます。

第3条においては、予算第8条に定めた経費の金額を、次のように改めるものでございます。

すなわち、(1)の職員給与費を、既決予定額に対しまして35万円増額し、2,809万7,000円と
するものでございます。

以上、下水道会計補正予算の提案説明とさせていただきます。

慎重御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げます。

○議長（猪岡 壽君） これで提案理由の説明及び議案の説明を終わります。

これより質疑に入ります。質疑のある方は順次発言を許可いたします。

質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（猪岡 壽君） 質疑がないようですので、これで質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（猪岡 壽君） ないようですので、これで討論を終了いたします。

これより議案第82号 令和2年度上里町下水道事業会計補正予算（第2号）についての件を起立により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（猪岡 壽君） 起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

ただいま町長より発言の許可を求められております。

町長の発言を許可いたします。

町長。

〔町長 山下博一君発言〕

○町長（山下博一君） 議員の皆様におかれましては、大変長時間にわたって御審議をいただき、大変お疲れさまでした。

本定例会に提出しました条例を初めとした関係議案、一般会計補正予算、特別会計補正予算につきまして、慎重御審議の上、御議決を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策では、全国的に感染者が再び増加している中、引き続き町民の安心・安全を第一に感染拡大の防止に努めてまいりますので、御理解、御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

これからますます寒さも厳しくなりますが、健康管理に十分御注意をいただき、引き続き町政の発展、推進につきまして格段の御支援、御協力をお願い申し上げまして、御礼の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

◎散 会

○議長（猪岡 壽君） 本日はこれをもって散会いたします。

御苦労さまでした。

午後5時28分散会

